



2025 村勢要覧



JR 飯山線栄村区間延伸 100 周年を記念して
長野県 PR キャラクター「アルクマ」が駅長服を着てお祝いにきてくれました。

長野県

栄村

目 次

【概 要 編】

- 1 p. 紹 介
- 2 p. 村のシンボル・沿革
- 3 p. 農林業・畜産
- 4 p. 商工観光
- 5 p. 福祉（子育て支援・雪対策）
- 6 p. 医療・介護
- 7 p. 道路・交通
- 8 p. 消防・防災
- 9 p. 教 育
- 10 p. 生涯学習
- 11 p. 歴史・文化
- 12 p. 行財政・議会

【資 料 編】

13 p ～ 26 p

【村の歩み】

27 p ～ 40 p

（巻末資料）

【村的一幕】

1. 紹介

栄村は長野県の最北端にあり、新潟県との県境に位置する、自然豊かな心やすらぐ村です。村北部を西から東へ千曲川が流れ、県境で信濃川と名前を変えて新潟県へ流れていきます。

村南部には苗場山や鳥甲山など、2,000m級の山々が聳え、その山あいには美しい紅葉の名所として知られる秘境・秋山郷があります。また、村内各地には泉質が異なる様々な温泉が湧出しています。

日本有数の豪雪地帯である本村に住む人々は、雪国特有の文化を育みながら、住民同士が助け合い、ともに生きています。



2. 村のシンボル・沿革

村 章

村の木である桐の花の紫色を背景にさかえの頭文字である「さ」を、希望と躍進の願いをこめて、生き生きと表象化したものです。



村の木／桐



天に向かって真っ直ぐ伸びる桐は、未来に向かって限らない発展をめざす栄村にもっともふさわしい木です。

村の花／カタクリ

豪雪に耐えて、春真っ先に咲く美しくも可憐な花は、万葉集にも数多く登場する馴染み深い花。村内各地に群生し、風にゆれる姿は、春の喜びと希望を与えてくれます。



村の鳥／ブッポウソウ



緑豊かな栄村のブナ林が、数少ない繁殖場所となっている貴重な鳥で、長野県の天然記念物に指定されています。森林の宝石鳥とも呼ばれる美しい鳥で、限らない夢を与えてくれます。

栄村民憲章

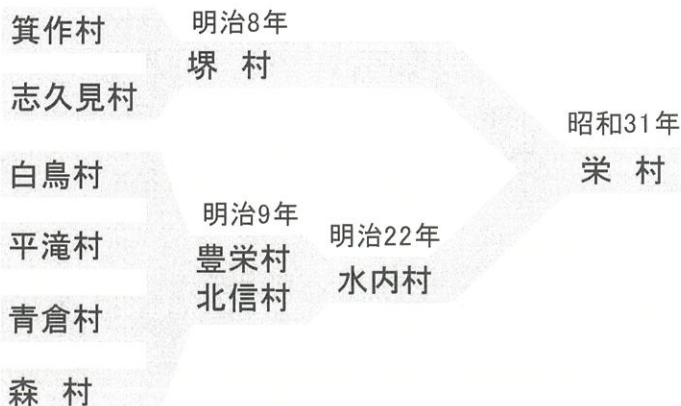
- 一、自然を愛し、環境を整え、美しい村をつくります。
- 二、生産をすすめ、豊かな、くらしよい村をつくります。
- 三、子供をはぐくみ、おとしよりを敬う、温かい村をつくります。
- 四、体をきたえ、大自然の中で躍動する、活力ある村をつくります。
- 五、心のふれ合いを深め、礼儀に厚い、連帯感にみちた村をつくります。
- 六、教育を尊び、知識を求め、創意にあふれる村をつくります。

栄村の沿革

現在の栄村は、昭和31年9月に下高井郡堺村と下水内郡水内村とが合併して生まれました。(右図参照)

昭和30年国勢調査

	人 口	世 帯
堺 村	5,641 人	862 戸
水内村	2,331 人	433 戸



3. 農林業・畜産

豪雪地帯である本村では、山から流れてくる豊富な雪解け水を利用して農業を営んでいます。春先に解けだした雪解け水が、ミネラルを含みながらゆっくりと土壤に浸透し、やがて河川に流れ出します。この水が田畑を潤し、農作物が健康に育つための栄養を与えます。

農業は栄村の基幹産業であり、田は先祖代々受け継がれてきた大切な財産です。そのため、高齢化が加速する中であっても、各集落では米作りに積極的に取り組んでいます。恵まれた土壌と作り手の強い思いにより、毎年とても美味しいお米が作られます。栄村のお米は様々なブランド化されており、村内外問わず大変好評です。

また、雪の下でじっくりと春を待ち、雪解けとともに一気に芽吹く山菜はとても柔らかく、ほんのりとした甘みを含みます。フキノトウ、タラの芽、コシアブラ、こごみなどが豊富に自生し、まさに山菜の宝庫です。



【稲穂】中山間地ならではの昼夜の寒暖差が米にしっかりと旨味を蓄えさせ、噛む度に優しい甘みが広がる美味しいお米が育ちます。



【収穫されたトマト】全国に愛好家がいる人気商品「栄村トマトジュース」の原料となる加工トマトの生産も盛んです。



【山菜（こごみ）】こごみの他、行者ニンニク、コシアブラ、タラの芽、ふきのとう、タケノコなど種類が豊富です。

畜産業では、ブランド牛である「北信州美雪和牛」が生産されています。山の上ののどかな環境で、長年の研究により独自配合された飼料^{しりょう}を^は込み、細心の注意の元丹念に育てられた和牛は、出荷される多くが肉質の最高等級であるA5ランクに格付けされ、主に関東圏の高級料亭などで提供されています。



【美雪和牛】大自然の中でのびのびと育てられています。



【美雪和牛】きめ細やかでツヤのある肉質と、とろけるような味わいが特徴です。

4. 商工観光

雪深い本村では、長い冬に自宅で行う手工業が発展してきました。村を代表する農業、田んぼのワラを使用し、加工される猫つぐらが今も脈々と継承されています。

また、あんぼ、早そばなどの郷土食も村のお母さんたちに受け継がれ、村の道の駅などで販売されています。



【ねこつぐら】
温かくて狭い場所を好む
猫にピッタリ



【あんぼ】
米粉で作ったお焼き



【早そば】千切り大根に水溶きそば粉を絡めた郷土食

観光面では、村内各地でたくさんの温泉が湧出しており、その泉質も多種多様です。村南部の秋山郷では、雄大な山々を見ながら入浴できる露天風呂を備えている温泉施設・宿泊施設もあり、特に10月中旬から11月初旬の紅葉シーズンには、毎年全国から多くの観光客が訪れます。

冬には村営のさかえ倶楽部スキー場がオープンします。リフト3基・全9コースの小規模なスキー場ですが、天然雪100%の雪質とアットホームな雰囲気が高く評価で、リフト待ちのストレスもなく滑走が可能です。存分にスキーを満喫したあとは、温泉に浸かってのんびりと疲れを癒す。豪雪地栄村ならではの贅沢な楽しみの一つです。



【さかえ倶楽部スキー場】12月中旬～翌年3月までオープン。スノーボード全面滑走可能。山頂からは苗場山や鳥甲山などの山々の絶景が楽しめます。栄村産トマトジュースを使用したゲレ食『トマトつけ麺』も好評で、さかえ倶楽部スキー場を代表する看板メニューです。



【秋山郷屋敷地区の布岩】天然の柱状節理（柱のような形をして、規則的な割れ目がある岩石）の絶壁岩です。長い布を幾重にも垂らしたような姿が美しく、秋は紅葉が映えます。

5. 福祉（子育て支援・雪対策）

子育て支援

村の宝である子どもたちが心身ともに健やかに育っていけるよう、様々な子育て支援施策を展開しています。以下は主な事業です。

事業名	内 容
不妊不育症治療助成	不妊治療等に係る医療費を助成します。（上限有り。）
健康教育事業	妊娠期から幼児期まで、保護者や児の成長に沿った支援を行います。（助産師による新生児訪問、子育てセミナー、離乳食教室など）
療育事業	子どもの心身の発達を促すとともに、健全な親子関係の構築を図るため、親子で取り組む様々なプログラムを実施します。（遊びの教室など）
子育て支援ルーム運営	親子が気軽に集い交流できる場所として、子育て支援ルームを運営しています。
さかえ学童クラブ	放課後児童の健全な育成のため、平日夕方及び夏休み等長期休暇期間中に学童クラブを開設しています。
福祉医療	出産までの妊婦、0～18歳までの子どもの医療費を助成します。

雪 対 策

豪雪地である本村において、自力で雪を処理できないお年寄りや障がいを持った方に対する福祉施策は大変重要です。村では雪害対策救助員と道踏み支援員の体制を整え、除雪困難世帯の冬期の安心安全な生活を守っています。



【除雪に奮闘する雪害対策救助員】高齢や障がいなどの理由により、自宅等の除雪ができない世帯に対して、村が雪害対策救助員を派遣して除雪作業を実施します。

雪害対策救助員は、昭和52年12月に村独自の「雪害対策救助員設置要綱」を制定して誕生しました。毎年12月15日前後から翌年の3月31日まで、村の非常勤特別職員として委嘱します。なお、集中豪雪等で雪害対策救助員での対応が困難になった時は、応急的に補助員を雇用することとしています。



【道踏みを行う道踏み支援員】

自宅から生活道路までの除雪（道付け）が困難な世帯に対して、道踏み支援員として登録された近隣住民が道付けを実施します。平成12年12月から制度が開始されました。

村に古くから根付く共助の精神により生まれた制度です。

6. 医療・介護

医 療

村営の診療所及び歯科診療所が内科と歯科の診療に対応しています。デイサービス等介護予防事業を行う「栄村高齢者総合福祉センター」が隣接していることから、医療と福祉の一元化を推進しています。村南部の秋山地域は、診療所まで車で1時間弱かかり、定期的に受診できない高齢者も多いことから、週に一度、医師による出張診察を実施しています。



【栄村診療所】1階が診療所で2階に歯科診療所を併設しています。医師は日常の診察はもちろん、児童生徒の健診や予防接種なども実施しています。

介 護

本村は人口の半分以上を65歳以上の高齢者が占める高齢化地域です。しかし、元気なお年寄りが村にたくさんいることは誇りであると捉え、お年寄りがいつまでも元気に村で暮らしていけるよう、高齢者福祉事業を充実させています。高齢者総合福祉センター、生きがいセンターで実施されているデイサービスや宅幼老所きぼうでの自立支援サービスなどの介護予防事業は、お年寄りの運動機能や認知能力を維持向上させるだけでなく、交流の場としての役割も担っており、お年寄りたちが生き生きと生活するための支援が実施されています。



【高齢者総合福祉センター】



【宅幼老所きぼう】



【生きがいセンター】

7. 道路・交通

道 路

村の広大な面積の中に一級村道が2路線、二級村道が19路線、その他村道が572路線あります。本村は直営の道路維持作業員を通年で雇用することにより、道路の破損箇所の修繕や除草作業を迅速に行い、事故や交通障害を未然に防いでいます。

冬期は一晩で50 cm以上の降雪がある日も少なくないため、道路除雪による生活道路の交通確保が重要となります。生活道路の中には坂道や狭隘^{きょうあい}な道も多くありますが、熟達した技術を持つ道路除雪作業員により、朝の通勤時間帯には支障なく通行が可能となります。



【除雪の手順①】タイヤドーザで道路に積もった雪を片側に寄せていきます。効率よく雪を寄せるためには、排土板（車体前方の雪を押す鉄の板）の高さや角度の絶妙な操作が必要です。



【除雪の手順②】タイヤドーザにより道路片側に寄せられた雪をロータリー除雪車で排雪箇所に投雪します。雪が民家や人に当たらないよう、細心の注意を払って作業を行います。

交 通

村内には JR 飯山線が走っており、車窓から千曲川や田園風景を楽しむことができます。

また、村内の交通手段として平成 19 年 4 月から「かたくり号」を運行しています。これは、乗り合い方式の戸口から戸口まで乗客を送迎するデマンドバスであり、利用者は、運行区域内であればどこでも定額で乗り降りが可能です。車を持たない村民にとっては通院や買い物に欠かせないものとなっています。



【デマンドバスかたくり号①】



【デマンドバスかたくり号②】

8. 消防・防災

消 防

3 分団で組織される栄村消防団は地域防災の要です。平成 23 年 3 月 12 日未明に発生した長野県北部地震（村内最大震度 6 強）の際は、住宅や道路・水道などが甚大な被害に見舞われましたが、幸いなことにこの地震で直接的に命を落とす方はいませんでした。（後に災害関連死と認定された方が 3 名）これは、地域に根差す消防団の活躍によるものです。12 日午前 3:59 分の発災直後から、消防団は集落の巡回と高齢者等要配慮者の避難誘導に奔走しました。自力で避難できない高齢者を背負って避難所まで移動させるといった事例もありました。こうした懸命な活動により、発災からわずか 2 時間後の午前 6:00 には村の全ての集落で住民の安否確認が完了しました。

令和元年 10 月の東日本台風においても、千曲川が氾濫して一部地域で浸水被害が発生しましたが、この際も消防団により住民の避難と財産（農機具や自家用車）の高台への移動が迅速に行われ、被害を最小限に食い止めることができました。



【H23 年の震災により崩壊した道路】



【H23 年の震災で一時帰宅する住民と警戒にあたる消防団員】



【ポンプ操作を行う消防団員】

防 災

頻発・激甚化する自然災害に対して、村は様々な防災対策に取り組んでいます。デジタル防災行政無線の整備により通信体制を強化するとともに、避難生活に備えた防災備蓄品の整備を行っています。また、ハザードマップや防災マップを策定して地域住民に配布することにより、自助と共助による防災体制の構築を進めています。年に 1 度、栄村総合防災訓練を開催しており、住民と消防団、村職員が合同で避難訓練や安否確認訓練を実施しています。



【2024 年版防災マップ】



【栄村総合防災訓練の様子】

9. 教育

小中学校を統合した「さかえ小中学校（施設一体型・義務教育学校）」を新たに開校することが決まり、令和7年度から現在の栄小学校の校舎の増改修工事が行われ、令和8年度に開校する予定です。この工事に係る移転期間として、栄中学校の校舎を令和6年度に改修しており、令和7年度から栄中学校の校舎で小中学生が合同の学校生活を送っています。保育園児、小中学生ともに少人数ではありますが、少人数であることを活かした学習環境を整えています。

北信保育園

友達を大切にし、物事に興味や関心を持つことができる子どもたちの育ちを願い様々な活動に取り組んでいます。また「信州やま保育」の認定を受け、豊かな自然環境や地域資源を積極的に活用した体験を保育に取り入れています。

栄小学校

近年は情報通信技術（ICT）を活用した学習に力を入れ、他校の生徒との共同学習や書評合戦などを展開して小規模校ならではの授業を行っています。こういった取組みが評価され、創造性に富んだ特色ある教育で顕著な成果を挙げた学校をたたえる第35回教育奨励賞の優秀賞を受賞しました。

栄中学校

総合的な学習として、「さかえふるさと塾」という、ふるさとの良さや課題を全校生徒で考え、研究していく活動を実施しています。中学生の若い感性で地域振興のアイデアが続々と出されており、これからの生徒の皆さんの活動に期待が膨らみます。



【畑づくりをする園児】



【ICT 機器を用いた授業（小学校）】



【生徒同士で話し合いながら進める協働的な授業の様子（中学校）】

教育支援

村の主な教育支援制度は以下のとおりです。

事業名	内 容
入学祝金	村小学校への入学時に祝金 10 万円を支給します。
通学補助	高校等に通学する生徒の定期券購入費を補助します。（上限有り）
栄村奨学資金	高校、専門学校、大学等への進学が困難な生徒に奨学資金を貸与します。
給食費無償化	令和7年度から保育園、小学校、中学校の給食費を無償化しています。

10.生涯学習

スポーツ・芸術文化活動

生涯元気でいきいきと暮らしていくために、健康でいることはとても大切です。

村では、スポーツによる健康づくり・仲間づくり・地域づくりを目的に、駅伝大会や村民スキー大会などのイベントを開催しています。村内には野球、卓球、フットサル、スキー、剣道といったスポーツクラブがあり、若者から年配者まで幅広い年代の村民が楽しく汗を流しています。

また、「栄村芸術文化団体連絡協議会」には写真や俳句、絵手紙や太鼓などに取り組む様々な団体が加入しており、いずれの団体も活発な活動を行っています。



【村民スキー大会】様々な世代の村民が集い、毎年熱い戦いが繰り広げられます。

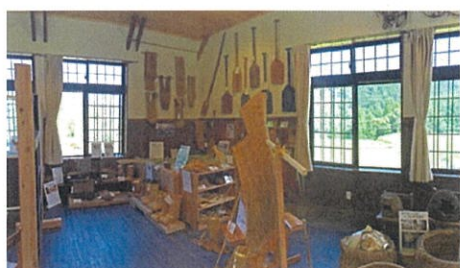


【栄村駅伝大会】姉妹都市の東京都武蔵村山市の選手にも参加いただいています。沿道からはたくさんの声援が送られます。

公民館活動

「栄村歴史文化館兼栄村公民館」（通称：こらっせ）は平成28年8月に開館し、公民館機能と、民具・土器・古文書などの文化財を展示・保管する歴史文化館です。平成23年の長野県北部地震以降、地域文化の復興に関わる活動をしていただいている「地域史料保全有志の会」の活動の場として古文書の目録整理や民具調査など栄村の歴史文化に関する保全活動をしています。

公民館講座では村で暮らす楽しみや伝統食調理などの講座を開催しており、村民の郷土愛の醸成に寄与しています。毎月公民館報編集委員会を行い、日常の情報をピックアップした記事や歴史に関する記事などを読んで面白い情報を毎年奇数月に発行しています。



【こらっせの内観】



【(村宝) 瑞花双鳥八稜鏡】およそ千年前の平安時代後期のものと考えられている貴重な文化財です。



【栄村自然学校】自然を楽しむ子どもたちの様子

1 1. 歴史・文化

当村では、はるか縄文の時代から生活が営まれてきました。冬は豪雪に見舞われる過酷な環境ですが、雪がもたらす恵みが数多くあることを知っていたからこそ、先人たちはこの地で生きてきたのでしょう。そして長い長い年月の中で、栄村ならではの独自の文化を育んできました。

先人たちが知恵を絞り、和をもって協力しあい、今日まで紡がれてきた村の歴史は私たちの誇りです。



【(村宝) 火焰型土器】長瀬地区や平滝地区などで縄文時代の土器等が出土しており、はるか昔から先人たちがこの地で生活を営んでいたことがわかります。



【道祖神（白鳥）】小正月には各集落で道祖神が行われ、住民の無病息災を祈ります。



【祭礼（長瀬）】8月～9月にかけて、各集落で祭礼が行われます。伝統的な獅子舞、サイトリ舞、天狗舞などが奉納されます。

・村のあゆみ（詳細は巻末資料「村のあゆみ」に記載しています。）

昭和 31 年	下高井郡堺村と下水内郡水内村が合併し、栄村政が施行しました。
～昭和 40 年	S32 年に初の栄村議会議員一般選挙。この頃から各地域で水道や道路橋梁等のインフラ整備が始まりました。また、栄村連合青年団や婦人会、栄村老人クラブが発足し、自治団体の活動が始まりました。
～昭和 60 年代	この頃、秋山郷の温泉保養施設「雄川閣」、小赤沢温泉「楽養館」が完成し、山ノ内町から秋山郷へ接続する秋山林道、奥志賀スーパー林道の完成も相まって秋山郷観光が盛り上がりを見せました。S50 年代からは村内小中学校の統合が進められるとともに、北信保育園、東部保育園が完成しました。これに合わせ、村営バスの運行も開始されました。
～平成 10 年	豪雪を地域振興につなげるための様々な施策が展開されてきました。H4 年には「さかえ雪ん子まつり」が初開催され、豪雪地ならではの冬の祭典として人気を博し、村の代表的なイベントとなりました。H8 年には、「さかえ倶楽部スキー場」がオープンし、雪は栄村の大切な観光資源であることを村民が認識するきっかけとなりました。同年には栄村のブランド米コシヒカリ「心づかい」が発売されました。また H6 年には道の駅「信越さかえ」及び栄村物産館「またたび」が完成し、栄村の観光の玄関口として今日まで賑わいを見せています。
～平成 20 年	H12 年に五宝木トンネルが開通し、秋山地区の交通の利便性が向上しました。絵手紙による村おこしが進められ、H15 年には中国との「10 万通日中絵手紙交流展」が開催、H19 年には栄村絵手紙収蔵館が竣工しました。H16 年には文化会館、消防署の機能を併せ持つ現在の役場新庁舎が竣工しました。また、H18 年の冬は過去最高クラスの豪雪となり、大規模な雪崩により秋山地区が孤立したことから、自衛隊による災害救援活動が行われました。
～現在	H22 年に全村で CATV の視聴が可能となりました。H23 年 3 月 12 日未明に長野県北部地震（最大震度 6 強）が発生し、村内に未曾有の被害をもたらしました。しかし、多くの皆様からの物心両面にわたる温かいご支援により、力強く復興の道を歩んでいます。H26 年には、新潟県津南町と栄村に跨る苗場山麓地域が日本ジオパークに認定され、地域の文化や歴史、地質学的な価値が新たに注目を集めています。R8 年で栄村は村制施行 70 周年を迎えます。

1 2. 行財政・議会

行 財 政

地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化の急激な進行、高度情報化、環境問題の広がりなど、大きな変化を迎えています。栄村においてもこういった変化の波が押し寄せ、様々な政策課題が浮かび上がっています。同時に役場には、これらの課題に^{しんし}真摯に対応し、住民福祉の向上を図っていく役割が期待されています。

特に少子高齢化の問題は村にとって最大の課題です。基幹産業である農業と観光を軸とした地域振興施策を展開するとともに、組織の合理化、職員の^{けんさん}研鑽に努め、効率的かつきめ細やかな行政運営を進めていきます。

平成 23 年に発生した長野県北部地震の復旧・復興事業により、平成 26 年度から令和元年度までは村一般会計の当初予算規模は年々増加する傾向にありましたが、事業の選択と集中、見直しに取り組み、不要不急の支出を可能な限り抑えるようにする体制によって健全財政への歩みを進めています。

また、財源不足を調整する目的で設置されている財政調整基金は、国や県からの財源を活用することで取り崩しを抑えるとともに、堅実な積立てを行ってきたことから、令和 6 年度末の残高は約 29 億 4 千万円となっています。



【平成 16 年に竣工した栄村役場庁舎】



【秋山郷総合センター「とねんぼ」】

議 会

議会は村政運営の意思決定機関であり、年 4 回の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催されます。現在の議員定数は 10 名です。予算・決算・条例などの議決や調査権、検査権、監査請求権などの権限を持ち、令和 6 年 4 月時点で総務文教、産業社会の 2 つの常任委員会の他、特別委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会で構成されています。

令和 7 年 5 月 21 日から第 19 期議会が発足され、令和 7 年 11 月には議員と住民が意見を交換する場となる「村づくり懇談会」が計 8 回開催されました。

2025 村勢要覧

資料編

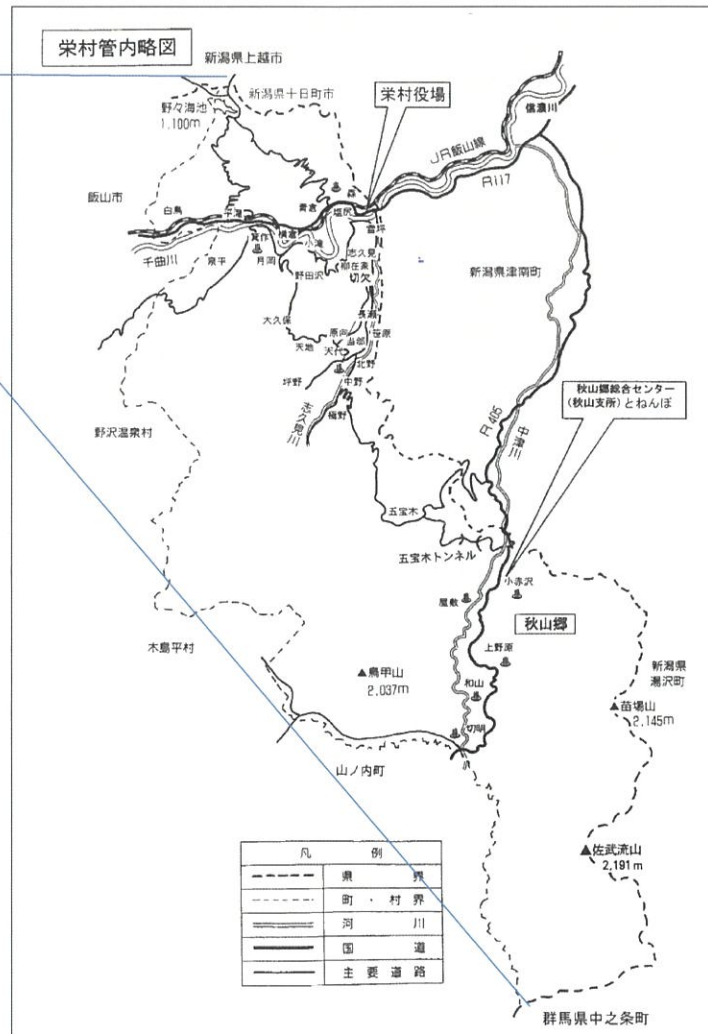
（※注）各種統計データは令和7年度時点の数値を記載していますが、項目によっては最新データが令和6年度以前の数値であるものがあります。

1.地勢

●村の位置



●管内略図



●広ぼう（令和7年4月1日現在）

東	西	19.1 km
南	北	33.7 km
周	囲	106.0 km
面	積	271.66 km ²
役場の海拔		286m
海拔最高		2191.5m (佐武流山)
海拔最低		256m (塩尻)
北	緯	36度59分
東	経	138度35分

●地目別面積（令和7年1月1日現在）

(単位：km²)

総面積	田	畑	宅地	沼地	山林	原野	その他※
271.66	4.34	3.15	0.69	0.02	43.32	13.40	206.74

※その他の内容：牧場、雑種地（鉄道用地）等

●村に流れる主な河川（延長 10,000m以上の河川）

名称	延長※	備考
千曲川	12,355m	北部を西から東へ流れる川
中津川	25,615m	秋山郷の谷あいを通る川
雑魚川	17,850m	奥志賀から流れる川
志久見川	17,113m	新潟県境を流れる川
北野川	15,478m	カヤノ平から流れる川

※延長は村内の流域長さ

●村の主な山（標高 2,000m以上の山）

名称	標高	備考
佐武流山	2,192m	日本二百名山
苗場山	2,145m	日本百名山
鳥甲山	2,038m	日本二百名山

●鉄道（JR 飯山線）

延長 (村内)	7.9 km	総延長（豊野-越後川口）96.7 km
駅 (村内)	4 駅	白鳥駅、平滝駅、横倉駅、森宮野原駅

(資料は全て総務課)

2.人口

●人口の推移（各年 4 月 1 日現在）外国人含む

年	人口（人）			世帯数 （世帯）
	男	女	総数	
H29	952	1,021	1,973	853
H30	919	980	1,899	834
H31(R1)	878	950	1,828	817
R2	851	926	1,777	804
R3	820	900	1,720	806
R4	796	873	1,669	787
R5	767	858	1,625	791
R6	748	822	1,570	773
R7	733	802	1,535	765

※外国人含む（資料：民生課）

●年齢別・年齢区分別人口（令和 7 年 4 月 1 日現在）

年 齢	人口（人）			比率 （％）
	男	女	計	
0～4	9	16	25	1.6
5～9	15	21	36	2.3
10～14	21	19	40	2.6
15～19	21	10	31	2.0
20～24	28	23	51	3.3
25～29	21	17	38	2.5
30～34	23	17	40	2.6
35～39	27	25	52	3.4
40～44	28	24	52	3.4
45～49	43	38	81	5.3
50～54	32	35	67	4.4
55～59	35	38	73	4.8
60～64	60	53	113	7.4
65～69	77	67	144	9.4
70～74	81	77	158	10.3
75～79	100	65	165	10.7
80～84	42	74	116	7.6
85～89	37	80	117	7.6
90～94	25	60	85	5.5
95～99	6	35	41	2.7
100～	2	8	10	0.7
合 計	733	802	1,535	100.0

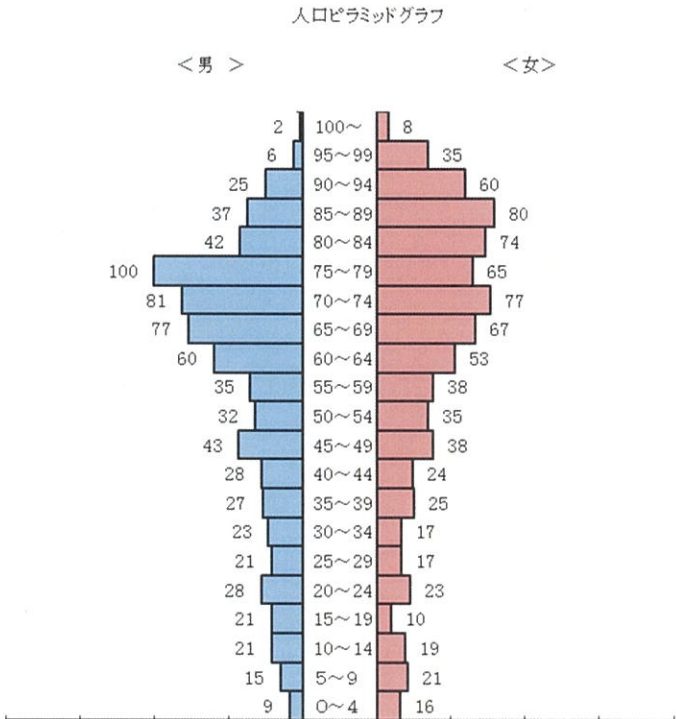
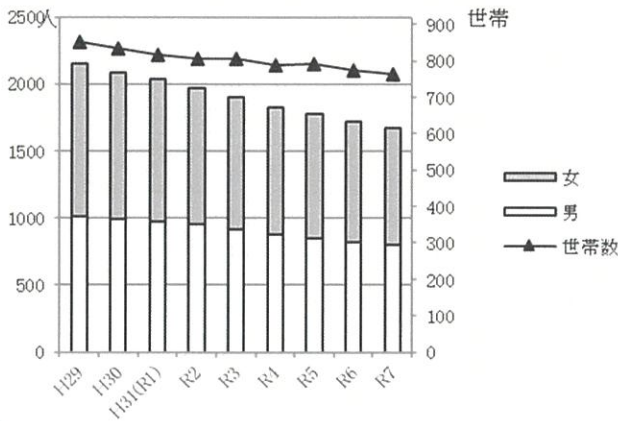
年齢区分	人口（人）			比率 （％）
	男	女	計	
年少人口	45	56	101	6.6
生産人口	318	280	598	39.0
高齢人口	370	466	836	54.5

●平均・最高年齢・高齢化率 （令和 7 年 4 月 1 日現在、外国人含む）

	男	女	全体
人口計	733人	802人	1,535人
平均年齢	58.1歳	63.5歳	61.0歳
65歳以上	370人	466人	836人
高齢化率	50.5%	58.1%	54.5%
最高年齢	105歳	104歳	

※外国人含む（資料：民生課）

※資料は全て民生課



●人口動態（外国人含まない。）

区 分 年	自然動態（人）			社会動態（人）			計 増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
H29	8	58	△ 50	41	70	△ 29	△ 79
H30	5	55	△ 50	40	67	△ 27	△ 77
R元	8	42	△ 34	36	62	△ 26	△ 60
R2	6	49	△ 43	44	53	△ 9	△ 52
R3	5	44	△ 39	36	51	△ 15	△ 54
R4	4	56	△ 52	56	54	2	△ 50
R5	7	41	△ 34	41	58	△ 17	△ 51
R6	5	58	△ 53	70	47	23	△ 30

※外国人含まない。（資料：「住民基本台帳年報告」）

2.人口（2）

●地区別人口（令和7年4月1日現在。住民基本台帳に登録された人口で外国人含む。）

地区名	人口（人）	世帯数	地域別		
			区分	人口（人）	世帯数
白鳥	126	62	水内	632	330
平滝	138	94			
横倉	112	51			
青倉	101	50			
森	155	73			
泉平	53	23	西部	403	169
箕作	111	45			
月岡	89	35			
小滝	48	18			
野田沢（程久保を含む）	55	25			
大久保	36	19			
天地	11	4			
塩尻	1	1	東部	348	177
雪坪	28	12			
志久見	54	27			
柳在家	23	14			
切欠	39	16			
長瀬	68	32			
原向	30	17			
笹原	9	4			
当部	6	5			
坪野	4	3			
天代	10	6			
北野	32	15			
中野	13	10			
極野	31	15			
五宝木	9	6	秋山	152	89
小赤沢	78	40			
屋敷	30	22			
上野原	15	11			
和山（切明を含む）	20	10			
合計	1,535	765		1,535	765

※平滝には「特別養護老人ホーム フランセーズ悠さかえ」の入所者を含む。（資料：民生課）

3.気候

●気象観測年報（2024 年）森地区

月	気温(℃)			湿度(%)			雨量 (mm)
	平均	最高	最低	平均	最高	最低	
1	0.4	12.1	-7.3	94.1	98.5	46.9	240.5
2	1.8	16.8	-4.4	95.5	98.5	34.4	136.0
3	2.9	15.6	-7.5	88.6	98.5	19.1	219.5
4	13.0	30.3	0.5	76.8	98.4	15.6	64.5
5	16.3	31.8	2.9	77.3	98.3	20.3	91.5
6	20.9	34.2	10.2	81.0	98.3	26.1	70.5
7	24.9	34.8	18.3	90.0	98.3	40.8	286.0
8	26.4	36.0	19.5	88.4	98.2	49.1	137.5
9	23.9	35.4	14.6	89.6	98.3	49.9	138.0
10	16.8	28.7	5.2	90.2	98.5	46.5	125.5
11	9.0	22.4	0.3	91.5	98.5	40.9	221.5
12	1.6	15.8	-3.5	96.5	98.6	50.6	562.0
平均	13.2			88.3			191.1
最高 起日		8月23日			12月14日		
起時		14:25			10:11		
最低 起日			1月9日			4月15日	
起時			6:54			14:01	
積算							2293.0

●地区別降雪・積雪総括表

※資料は全て総務課

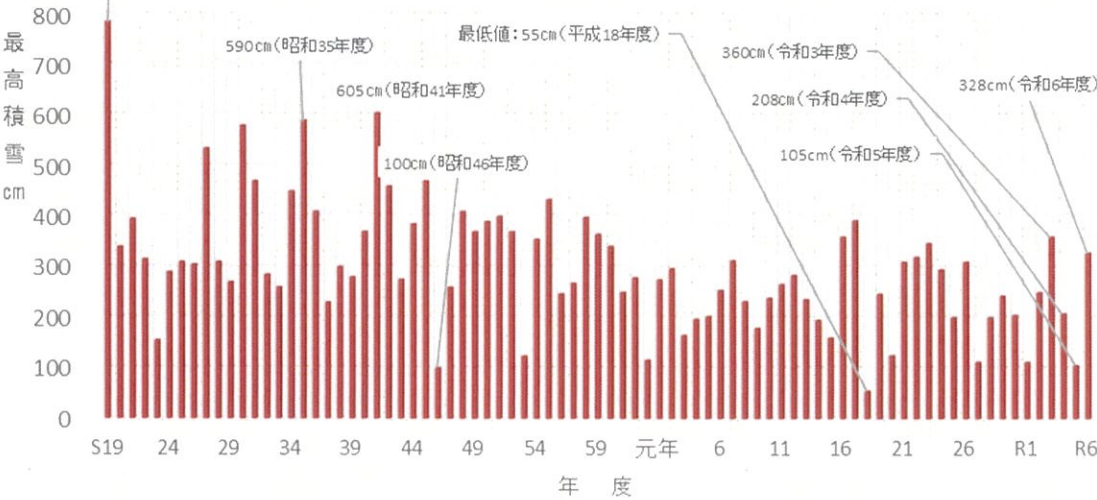
	2024年-2025年（令和6年11月～令和7年4月）		
	白 鳥	森	小 赤 沢
初 雪	令和6年11月19日	令和6年11月19日	令和6年11月19日
根 雪	令和6年12月7日	令和6年12月7日	令和6年12月7日
積雪積算	26,612cm	20,737cm	24,574cm
平均積雪	189cm	156cm	176cm
総 降 雪	1,306cm	1,414cm	1,390cm
平均降雪	18cm	20cm	17cm
最深積雪	375cm	328cm	330cm
最深積雪時期	令和7年2月25日	令和7年2月23日	令和7年2月2日
最高降雪(24h)	80cm	83cm	50cm
最高降雪時期	令和7年2月5日	令和7年2月5日	令和7年2月18日
積雪の期間	141 日	133 日	140 日
降雪日数	73 日	71 日	83 日
最終降雪日	令和7年3月29日	令和7年3月29日	令和7年3月29日
消 雪	令和7年4月26日	令和7年4月18日	令和7年4月25日

※根雪は、積雪が30日以上継続するときのその初日の日を言う。
※積雪積算は、初雪から消雪日までの毎日の積雪量の総計を言う。
※平均積雪は、積雪積算÷(根雪日～消雪までの日数)
※平均降雪は、総降雪÷降雪日数
※積雪の期間は、根雪～消雪までの日数を言う。

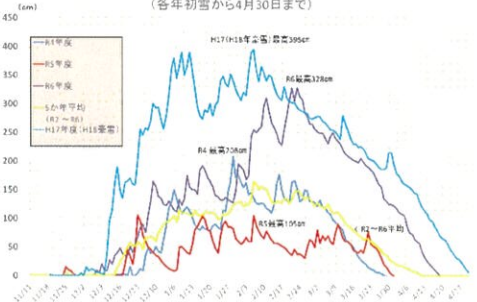
年度別最高積雪の記録

最高値：785cm(昭和19年度)

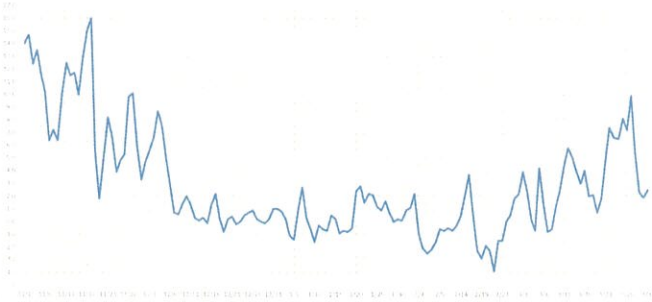
資料：昭和19年度～飯山線森宮野原保線区、昭和56年～栄村役場



栄村(森地区)の積雪量の推移
(各年初雪から4月30日まで)



令和6年度冬期：2024年11月～2025年3月の1日当たり平均気温の推移 (℃)



3.気候 (2)

●主な警報や注意報等の発表情報

※資料は全て総務課

区分	気象情報の名称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	発表件数合計
雨	大雨特別警報													0
	大雨警報													0
	大雨注意報					1		1	1	1				4
河川	洪水警報													0
	洪水注意報							2	2	1				5
雪	大雪警報	4	1	2									2	9
	大雪注意報	7	3	8									8	26
	融雪注意報		2	1	3	1								7
	なだれ注意報	4	4	6	4								4	22
	着雪注意報	2	4	3									6	15
	風雪注意報			1										1
風	暴風警報													0
	強風注意報			1								1		2
雷	雷注意報	2	1	6	2	2	15	13	15	13	4	6	9	88
霧	濃霧注意報	12	18	12	9	12	5	9	8	10	16	14	16	141
その他	低温注意報	3		1									2	6
	霜注意報			3	14	7								24
	乾燥注意報				1	3								4

●年別最低気温・最高気温・雨量の状況

項目 年	年 平均気温	最低気温 (℃)	最低気温 記録日	冬日 観測日数	真冬日 観測日数	最高気温 (℃)	最高気温 記録日	真夏日 観測日数	猛暑日 観測日数	年間雨量 (mm)
H27年 (2015年)	12	-9	2015年 1/21	83	2	35.9	2015年 7/22	26	7	1,501.0
H28年 (2016年)	12.4	-8.3	2016年 2/8	88	0	35.1	2016年 8/7	44	1	1,710.5
H29年 (2017年)	11.2	-7.2	2017年 2/1	104	5	35.3	2017年 7/11	24	2	2,312.5
H30年 (2018年)	12.4	-8.5	2018年 2/14	76	9	37.1	2018年 8/22	44	12	1,567.5
H31・R1年 (2019年)	12.2	-10.2	2019年 1/10	95	3	37	2019年 8/17	33	11	2,153.0
R2 (2020年)	12.5	-8.9	2020年 2/11	59	3	36.7	2020年 8/11	41	8	2,127.0
R3年 (2021年)	12.2	-9.2	2021年 1/21	86	7	37.6	2021年 8/6	31	6	2,013.0
R4年 (2022年)	12.1	-9.1	2022年 2/25	87	9	36.7	2022年 6/24	57	5	1,961.0
R5年 (2023年)	12.9	-8.9	2023年 1/26	80	4	37.2	2023年 8/22	51	20	1,976.5
R6年 (2024年)	13.2	-7.9	2024年 1/9	86	2	36	2024年 8/23	63	2	2,290.0

最高気温・最低気温観測日が複数ある場合は、暦の早い日を記載

真夏日：日最高気温が30℃以上の日

猛暑日：日最高気温が35℃以上の日

冬日：日最低気温が0℃未満の日

真冬日：日最高気温が0℃未満の日

4.産業（1）

●販売農家数と農家人口

区分	総農家 戸数	販売農家戸数				農家人口(人)	
		主業	準主業	副業的	計	65歳以上	
H17	549	60	89	204	353	1,232	517
H22	494	45	72	179	296	976	227
H27	397	22	44	166	232	722	349
R2	345	23	38	125	186	530	267

※資料は全て農林建設課

●農業粗生産

(単位:千万円)

区分 年度	計 ① + ② + ③	耕種										畜産							加工 農産物 ③	栽培 きのこ
		小計 ①	米	麦類	雑穀・ 豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸・ 農産物	種苗・ 苗木類	小計 ②	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	養蚕	その他		
H29	48	47	38	-	1	0	8	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	1	54
H30	31	30	22	-	0	0	8	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	1	54
R1	34	33	25	-	0	0	8	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	1	53
R2	32	32	24	-	0	0	8	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	0	55
R3	28	28	20	-	0	0	8	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	0	51
R4	29	29	21	-	0	0	8	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	0	51
R5	29	29	21	-	0	0	8	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	0	51
R6	36	36	30	-	0	0	6	0	0	-	-	X	X	-	-	-	-	-	0	48

●経営耕地面積

区分	総面積 (ha)	田	畑			
			普通畑	樹園地	その他	計
H17	382	213	167	2	75	244
H22	305	200	105	1	29	135
H27	230	175	55	0	0	55
R2	258	175	83	0	0	83

●畜産飼育頭数

年	肉用牛(頭)
H30	338
R1	340
R2	339
R3	344
R4	340
R5	338
R6	332

●中山間地域等直接支払交付金

年	団地数	協定面積【ha】		交付金 (千円)
		急傾斜	緩傾斜	
H30	20	168.4	32.0	37,927
R1	20	168.4	32.2	37,941
R2	20	166.3	61.9	40,429
R3	20	166.5	61.9	40,471
R4	17	167.2	62.4	50,054
R5	17	167.0	62.4	49,592
R6	17	167.0	62.4	49,565

●集落営農団体数

年	団体数		
		春作業	秋作業
H30	18	18	13
R1	18	18	13
R2	18	18	13
R3	18	18	13
R4	18	18	13
R5	18	18	13
R6	18	18	13

4.産業（2）

●ふるさと納税の寄附実績

(単位: 千円)

年度	農業支援以外寄附金	農業支援寄附金	合計
H29	6,754	125,893	132,647
H30	3,563	154,211	157,774
R1	1,467	22,510	23,977
R2	8,055	21,130	29,185
R3	9,660	21,482	31,142
R4	12,030	20,223	32,253
R5	17,965	15,590	33,555
R6	27,438	59,820	87,258

●観光客数の推移

(単位: 百人)

区分 年	秋山	苗場・ 鳥甲山	千曲川 沿線	スキー場
H7	1,403	99	83	—
H15	791	112	1,198	192
H22	336	72	950	128
H23	245	49	548	134
H24	264	58	934	143
H25	257	57	891	137
H26	231	55	799	154
H27	250	74	835	124
H28	240	60	769	141
H29	172	44	679	132
H30	157	51	626	137
R元	155	18	315	120
R2	81	22	219	104
R3	81	30	204	125
R4	113	17	273	137
R5	158	17	501	169
R6	111	14	617	188

※千曲川沿線の観光客について、R1年度集計から、共通入浴券・回数券の利用者を除いている。

※スキー場はH8年12月20日開業。数値は千曲川沿線の内数

●ふるさと納税返礼品（R7.12.1 現在）

食品関係 (16商品)	野田沢ライステロワールbyふるさとチョイス
	栄村米「コタキホワイト」
	栄村米「サカエブレンド」
	栄村米「蛍の輝き米」
	栄村米「青倉米(SNOW RICE)」
	学習院米
	栄村トマトジュース
	信越自然郷天然水
	さかえむらトマジュールカレー
	おひさまケチャップセット
	米粉ドーナツ
	おひさまラスクセット+おひさまケチャップ
	栄村トマトづくしセット
その他 (13商品)	あんぼ
	乾燥きくらげ
	みみだんご
	クロモジ蒸留水「郷の雫」
	クロモジ和精油
	クロモジアロマセット
	山ぶどうバック（亀甲編み）
	山ぶどうバック（変わり編み）
	栄村ポストカード
	民宿「出口屋」宿泊券
	民宿「出口屋」宿泊券+マタギ体験ツアー
	秋山郷温泉タクシー
	空き家管理代行サービス
	栄倶楽部スキー場リフト券
	栄倶楽部スキー場シーズン券
	信越自然郷スーパーバリューチケット

（ふるさと納税資料：総務課）

（観光客数に関する資料：商工観光課）

（産業別事業所数に関する資料：商工観光課）

●産業(大分類)別 15歳以上就業者数

年度		平成12年			年度		平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
区分		計	男	女	区分	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
第一次産業	農 業	600	308	292	農 業	520	270	250	358	209	149	315	187	128	264	166	98	
	林業・狩猟業	5	5	0	林 業	25	21	4	31	29	2	23	20	3	15	13	2	
	漁業・水産養殖業	0	0	0	漁 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	605	313	292	計	545	291	254	389	238	151	338	207	131	279	179	100	
第二次産業	鉱 業	3	3	0	鉱 業	5	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	建設業	213	184	29	建設業	155	140	15	107	97	10	103	92	11	84	73	11	
	製造業	136	56	80	製造業	118	47	71	84	43	41	72	42	30	63	34	29	
	計	352	243	109	計	278	192	86	192	141	51	175	134	41	147	107	40	
第三次産業	卸売業・小売業	131	63	68	卸売・小売業	112	57	55	98	56	42	83	44	39	77	44	33	
	金融・保険業	3	0	3	金融・保険業	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	
	不動産業	1	1	0	不動産業等	1	1	0	2	1	1	1	1	0	4	3	1	
	運輸・通信業	46	41	5	情報通信業	6	5	1	1	0	1	2	1	1	2	2	0	
	電器・ガス・水道・熱供給業	2	2	0	運輸業・郵便業	25	21	4	29	26	3	22	20	2	18	13	5	
	サービス業	304	150	154	電器・ガス・熱供給・水道業	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
					飲食店・宿泊業	95	49	46	92	43	49	84	41	43	52	16	36	
					医療・福祉	87	12	75	98	17	81	104	22	82	108	22	86	
					教育・学習支援業	46	22	24	49	22	27	41	20	21	30	13	17	
					複合サービス業	72	49	23	30	14	16	30	18	12	24	15	9	
	公務	101	79	22	サービス業	69	36	33	54	31	23	20	12	8	42	25	17	
計	588	336	252	公務	86	73	13	86	66	20	86	65	21	82	61	21		
分類不能		2	1	1	計	600	326	274	540	277	263	474	244	230	441	214	227	
分類不能		2	1	1	分類不能	11	6	5	7	2	5	0	0	0	11	5	6	
合 計		1,547	893	654	合 計	1,434	815	619	1,128	658	470	987	585	402	878	505	373	

(資料: 国勢調査)

●産業(大分類)別 事業所数

年度	H8年	H13年	H18年	H24年	H28年	R3年
産業分類						
総事業所数	165	179	143	109	70	105
農林漁業	4	8	6	5	2	7
鉱業	-	-	-	-	-	-
建設業	23	23	23	18	15	18
製造業	18	10	9	6	4	6
電器・ガス・水道・熱供給業	1	1				
運輸・通信業	7	10	3	4	1	4
卸・小売・飲食店	54	57	42	23	22	24
金融・保険業	-	-	-	1	-	1
不動産業	-	-	-	-	-	-
サービス業他	58	70	60	52	26	45

5.福祉・医療

●介護保険サービスの状況

要介護(支援)認定者数 (令和7年4月1日現在)

(単位:人)

区 分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	30	37	27	33	30	20	177
第2号被保険者	1	0	0	0	0	0	1
総 数	24	51	32	34	25	15	178

要介護(支援)者の主なサービス利用状況

(単位:人)

区 分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
施設介護	0	2	5	18	21	14	60
訪問介護	0	4	4	1	3	0	12
訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0	0
訪問看護	0	1	1	1	1	3	7
通所介護	0	16	10	6	4	3	39
通所リハビリ	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具・住宅改修	15	11	17	7	5	4	59
短期入所	0	1	1	2	2	1	7
その他	0	3	1	1	0	0	5
総 数	15	38	39	36	36	25	189

(資料:民生課)

●高齢者総合福祉センター利用状況

(単位:日・人)

区 分 年 度	デイサービス		
	開所 日数	利用人員 延人員	日平均
30	309	7,280	23.6
R元	311	7,073	22.7
R2	310	6,528	21.1
R3	311	5,485	17.6
R4	310	4,813	15.5
R5	311	5,532	17.8
R6	302	4,892	16.2

●国民健康保険税の状況

区分 年度	税 率		調 定 額				
	所得割 (%)	資産割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	税額 (円)	1人当たり 税額(円)	1世帯当たり 税額(円)
R4	医療分	6.1	0.0	15,000	17,000	18,434,674	50,368
	介護分	1.9	0.0	6,500	5,300	2,105,322	25,675
	支援分	2.6	0.0	6,500	7,000	7,998,104	21,853
R5	医療分	6.1	0.0	15,000	17,000	19,355,395	48,754
	介護分	1.9	0.0	6,500	5,300	2,149,300	24,149
	支援分	2.6	0.0	6,500	7,000	8,316,505	20,948
R6	医療分	6.1	0.0	17,500	19,000	21,934,233	56,531
	介護分	2.1	0.0	8,000	6,700	2,256,213	25,638
	支援分	2.6	0.0	8,000	8,000	9,564,054	24,649

(資料:総務課)

●国民健康保険等加入状況

区分 年度	被保険者		後期 高齢
	世帯数	人数(A)	
R2	312	480	574
R3	311	455	556
R4	304	451	545
R5	273	366	544
R6	278	390	529
R7	270	374	539

※各年4月1日現在

(資料:民生課)

●診療所利用状況

区 分 年 度	歯科			内科			秋山診療所		
	国保・後期	社保・他	計	国保・後期	社保・他	計	国保・後期	社保・他	計
R元	1,056	265	1,321	4,190	543	4,733	388	46	434
R2	840	213	1,053	3,416	467	3,883	346	35	381
R3	946	198	1,144	3,298	574	3,872	368	36	404
R4	310	78	388	3,155	703	3,858	344	27	371
R5	213	48	261	3,063	660	3,723	326	30	356
R6	592	199	791	2,883	839	3,722	330	17	347

(資料:民生課)

●雪害対策救助員・道踏み支援員制度状況

年度	救助認定棟数	救助員数	道踏み支援 世帯数
R2	190棟	20人	81世帯
R3	193棟	18人	88世帯
R4	206棟	20人	93世帯
R5	200棟	19人	88世帯
R6	210棟	17人	82世帯

棟数には非住家も含む。

6.生活環境

●デマンドバス利用状況

区分 分年度	年間利用者 (人)	1日当たり (人)
R元	4,201	11
R2	3,732	10
R3	4,043	11
R4	3,845	10
R5	3,816	10
R6	4,150	11

※H28から休日デマンドの利用者数も計上
(資料:民生課)

●村内交通事故の状況

区分 分年度	事故 件数	傷者数		
		総数	死者	負傷者
R元	1件	3人	-	3人
R2	1件	1人	-	1人
R3	2件	4人	-	4人
R4	2件	2人	-	2人
R5	2件	3人	-	3人
R6	2件	2人	-	2人

※人身事故のみ (資料:総務課)

●消防の状況

令和7年4月1日現在

区分	数
団員	146
積載車	20
可搬ポンプ	27
防火水槽	105

(資料:総務課)

●救急車出場状況

(単位:件・人)

区分 年	R元	R2	R3	R4	R5	R6
出場件数	165	149	132	176	159	175
搬送人員	157	147	132	173	155	171

※岳北消防本部、十日町地域消防本部の計
(資料:総務課)

●火災発生状況

区分 年	R2	R3	R4	R5	R6	合計
村内発生件数	3	2	3	1	1	10

(資料:総務課)

●道路の状況 令和7年4月1日現在 (単位:m、%)

区 分		路線数	延長	改良延長	改良率	舗装延長	舗装率
一般国道		2路線	19,849.4	14,131.2	71.19	19,809.4	99.80
一般県道		4路線	46,681.9	13,750.2	29.46	43,949.3	94.15
村道	1級	2路線	21,736.0	19,778.0	90.99	21,550.0	99.14
	2級	19路線	50,528.0	35,786.0	70.82	43,410.0	85.91
	その他	572路線	280,104.0	67,233.0	24.00	106,182.0	37.91
	小計	593路線	352,368.0	122,797.0	34.85	171,142.0	48.57
総 計		599路線	418,899.0	150,678.0		234,900.7	-

(資料:農林建設課)

●除雪機械台数

(単位:台)

区分 年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
ロータリー車	14	13	14	13	14	13
タイヤドーザー	17	17	16	17	17	18
ブルドーザー	14	14	16	14	14	14
計	45	44	46	44	45	45

(資料:農林建設課)

●道路除雪状況

区分 年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
除雪延長	67.5 km (135路線)	68.0 km (135路線)	68.0 km (135路線)	68.0 km (138路線)	68.0 km (138路線)	68.0 km (138路線)
(春山除雪)	126.1 km (44路線)	126.1 km (44路線)	126.1 km (44路線)	126.1 km (44路線)	126.1 km (44路線)	126.1 km (44路線)
消雪パイプ延長	3,880.5 m (9路線)	3,880.5 m (9路線)	3,880.5 m (9路線)	3,880.5 m (9路線)	3,880.5 m (9路線)	3,880.5 m (9路線)
流水道路延長	2,091.0 m (6路線)	2,091.0 m (6路線)	2,091.0 m (6路線)	2,091.0 m (6路線)	2,091.0 m (6路線)	2,091.0 m (6路線)
消雪池	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所

(資料:農林建設課)

●ごみ・し尿処理状況 人口は各年4月1日現在

区分 分年度	総人口 (人)	年間搬出量		一人当たり搬出量	
		ごみ (t)	し尿 ($\frac{kg}{人 \cdot 年}$)	ごみ (kg)	し尿 ($\frac{l}{人 \cdot 年}$)
R元	1,828	558	1,350	305	739
R2	1,777	542	1,374	305	773
R3	1,720	513	1,244	298	723
R4	1,669	553	1,222	331	732
R5	1,570	532	1,156	339	736
R6	1,535	503	1,101	328	717

※し尿は、汚泥を含む (資料:津南地域衛生施設組合)

●水道給水状況

区分 分年度	住基 人口(A) (人)	給水 人口(B) (人)	普及率 人口 (B)/(A)
R元	1,828	1,686	92%
R2	1,777	1,626	92%
R3	1,720	1,580	92%
R4	1,669	1,580	95%
R5	1,570	1,479	94%
R6	1,535	1,416	92%

人口は各年4月1日時点

●合併処理浄化槽設置状況

区分 年度	設置基数 (基)	整備人口 (人)	普及率 (%)
R元	518	1,226	88.2
R2	522	1,314	85.2
R3	526	1,264	84.5
R4	529	1,277	88.4
R5	531	1,283	88.8
R6	537	1,220	88.3

※各年度末の状況 (資料:建設課)

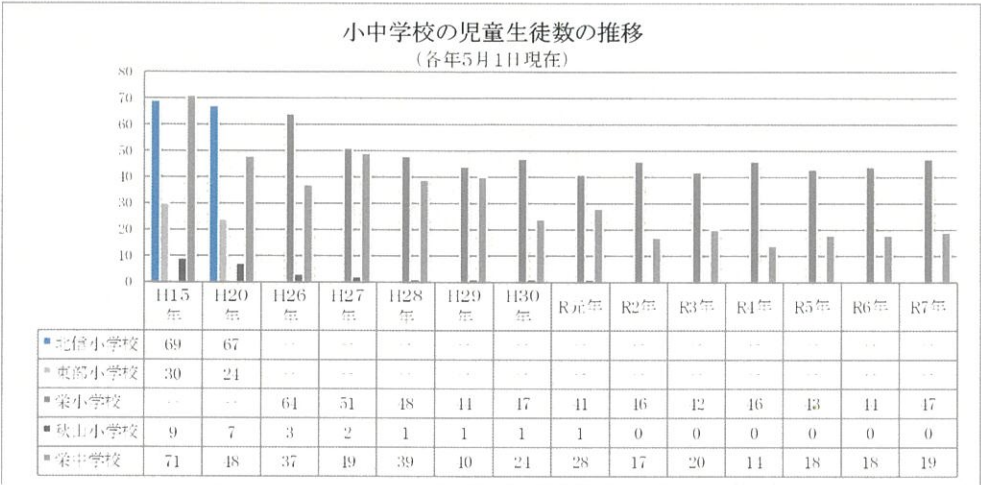
●農業集落排水設置状況

区分 年度	処理人口 (人)	普及率 (%)
R元	182	100.0
R2	178	100.0
R3	173	100.0
R4	165	100.0
R5	161	100.0
R6	153	100.0

※各年度末の状況 農集は森集落のみ。

7.教育・文化

※資料は全て教育委員会事務局



●保育所の推移

各年5月1日現在(単位:人)

年度 区分	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
保育所数	2	2	2	2	2	2	2	2
園児数	33	34	30	32	29	25	25	23
保育士等数	6	6	6	7	7	7	7	7

※保育士等数:パート職員含まない

(資料:教育委員会)

●学童クラブ利用状況

年度	開所日数	利用延べ 人数(人)	登録 児童数(人)
R1	238	2,428	25
R2	236	3,799	29
R3	237	3,257	32
R4	240	2,490	32
R5	240	2,721	38
R6	238	2,597	37

●栄村・長野県指定文化財

	名 称	種 別	指 定 年 月 日	所有者・管理者
県指定	阿部家住宅 1棟	長野県宝	昭和50. 11. 4	阿部 武信
	箕作の道陸神祭り	長野県無形民俗文化財	平成3. 8. 15	箕作区
栄村指定	北野神社 鰐口	栄村宝	昭和49. 4. 9	北野神社
	島田氏古文書	栄村宝	昭和47. 11. 28	島田 敬子
	ユモトマユミ	栄村天然記念物	昭和62. 6. 24	山田直廣
	尖頭器(石槍)	栄村宝	平成2. 3. 26	栄村教育委員会
	一字一石経塚	栄村史跡	平成2. 3. 26	山田公一
	黒駒太子画像・聖徳太子孝養像	栄村宝	平成2. 3. 26	阿部 宗由
	内池館跡	栄村史跡	平成20. 8. 6	志久見保存会
	長瀬新田遺跡出土火焰型土器	栄村宝	平成30.7.2	栄村教育委員会
	瑞花双鳥八稜鏡	栄村宝	平成30.7.2	栄村教育委員会
	仙当城跡	栄村史跡	令和3. 11. 29	月岡区
県選択	ひんご遺跡出土品	栄村史跡	令和3. 11. 29	栄村教育委員会
	下水内郡栄村秋山地方の口語伝承 (日常生活用語)	長野県選択無形民俗文化財	昭和50. 7. 18	—
	秋山郷の焼畑耕作	長野県選択無形民俗文化財	平成3. 8. 8	—
	早蕎麦	長野県選択無形民俗文化財	平成13. 3. 15	—

8.議会

●構成

議 員 数	条例	10人
	現員	10人
党 派 別 構 成	無所属	10人
会 派 別 構 成	無所属	10人

●委員会等

常 任 委 員 会	総務文教常任委員会	5人
	産業社会常任委員会	5人
議 会 運 営 委 員 会		4人
特 別 委 員 会	決算特別委員会	10人
	予算特別委員会	10人
議 会 報 編 集 委 員 会		5人

令和7年4月1日現在(資料:議会事務局)

●定例会・臨時会の開催(令和6年1月～令和6年12月)

区 分		本会議日数 (予算委員会・決算委員会含む)	休会日数	計	本会議中 の委員会 日数	傍聴者数 (延べ)
定 例 会	1回(3月)	6 日	2 日	8 日	3 日	15 人
	2回(6月)	4 日	0 日	4 日	1 日	9 人
	3回(9月)	6 日	2 日	8 日	3 日	13 人
	4回(12月)	4 日	0 日	4 日	1 日	17 人
	計	20 日	4 日	24 日	8 日	54 人
臨 時 会		2 日		2 日		5 人
年 間 計		22 日	4 日	26 日	8 日	59 人

●歴代議員の期別任期

第1期	昭和31年9月30日～32年5月20日 (合併議会 定数31人)
第2期	昭和32年5月21日～36年5月20日 (定数22人)
第3期	昭和36年5月21日～40年5月20日 (定数18人)
第4期	昭和40年5月21日～44年5月20日
第5期	昭和44年5月21日～48年5月20日
第6期	昭和48年5月21日～52年5月20日 (定数16人)
第7期	昭和52年5月21日～56年5月20日
第8期	昭和56年5月21日～60年5月20日
第9期	昭和60年5月21日～平成元年5月20日
第10期	平成 元年5月21日～ 5年5月20日
第11期	平成 5年5月21日～ 9年5月20日
第12期	平成 9年5月21日～13年5月20日
第13期	平成13年5月21日～17年5月20日
第14期	平成17年5月21日～21年5月20日 (定数12人)
第15期	平成21年5月21日～25年5月20日
第16期	平成25年5月21日～29年5月20日
第17期	平成29年5月21日～令和3年5月20日 (定数10人)
第18期	令和3年5月21日～令和7年5月20日
第19期	令和7年5月21日～令和11年5月20日

●特別職の報酬(月額)

議 長	257,000 円
副 議 長	180,000 円
常任委員長	160,000 円
議 員	155,000 円
村 長	606,000 円
副 村 長	514,000 円
教 育 長	465,000 円

9.行政

●行政機構図及び職員数（令和7年4月1日現在）

行政機構図及び職員数（令和7年4月1日現在）

					総	職	員	数	会計年度 任用職員 等
					課長等	係長	係員	計	
					7	16	39	62	

議 会

議会事務局

1

—

—

1

1

村 長

副村長

総 務 課

行政係

1

1

3

10

1

企画財政係

1

2

1

—

税務係

1

1

—

農林建設課

移住定住係

1

兼務

3

13

—

建設係

1

2

3

上下水道係

1

1

1

農村振興係

1

3

—

商工観光課

観光係

1

1

1

6

2

企業係

1

2

—

秋山支所

—

1

—

—

1

2

民 生 課

住民福祉係

1

1

3

18

1

健康支援係

1

7

—

診療所

内科

2

3

1

歯科

—

3

会 計

会計係

—

1

—

1

1

教育委員会

教育長

事務局

子ども教育係

1

1

—

12

2

小 学 校

—

1

3

中 学 校

—

—

2

保育園

北信

1

6

—

秋山

—

—

—

生涯学習係

1

1

1

公民館長

公 民 館

兼 務

—

農業委員会

事務局

農林建設課

兼 務

—

固定資産評価審査委員会

事務局

総 務 課

兼 務

—

選挙管理委員会

事務局

総務課担当

兼 務

—

監査委員

事務局

議会事務局

兼 務

—

派遣・出向

—

1

1

2

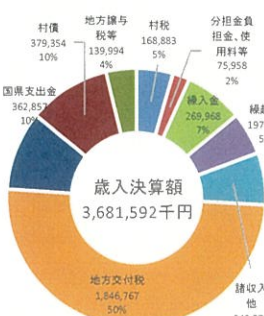
—

10.財政

●令和6年度一般会計決算

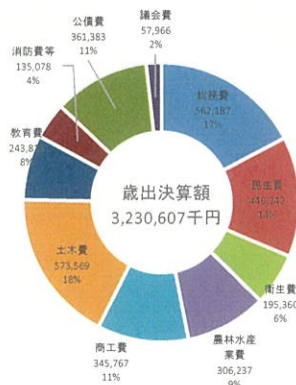
歳入 (千円)

項目	金額
村税	168,883
分担金負担金等	75,958
繰入金	269,968
繰越金	197,438
諸収入他	240,373
地方交付税	1,846,767
国県支出金	362,854
村債	379,354
地方譲与税等	139,994
合 計	3,681,592



歳出 (千円)

項目	金額
総務費	562,187
民生費	449,242
衛生費	195,360
農林水産業費	306,237
商工費	345,767
土木費	573,569
教育費	243,818
消防費他	135,078
公債費	361,383
議会費	57,966
合 計	3,230,607



【令和6年度特別会計決算】

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引	歳入のうち一般会計からの繰入金
国民健康保険(事業勘定)	21,228	20,980	248	1,654
国民健康保険(施設勘定)	9,536	9,474	62	4,630
秋山診療所	391	366	25	30
後期高齢者医療	3,253	3,207	46	1,264
介護保険	42,070	40,710	1,360	6,780
介護サービス	760	760	0	510
ケーブルテレビ	5,168	5,158	10	970
合 計	82,406	80,655	1,751	15,838

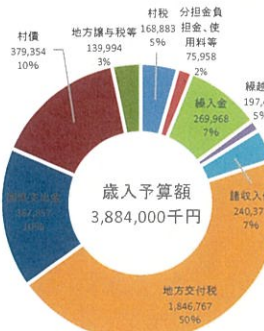
【令和6年度公営企業会計当初予算】 (単位:千円)

事業名	区分	収入 A	支出 B	差引 C=A-B
簡易水道事業	収益的収支	88,311	81,683	6,628
	資本的収支	51,653	68,981	△ 17,328
下水道事業	収益的収支	84,710	79,525	5,185
	資本的収支	39,967	37,788	2,179

●令和7年度一般会計当初予算

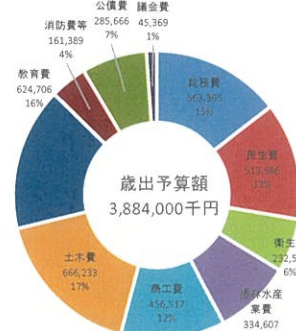
歳入 (千円)

項目	金額
村税	169,140
分担金負担金等	67,518
繰入金	341,899
繰越金	50,000
諸収入他	145,475
地方交付税	1,752,000
国県支出金	634,038
村債	597,100
地方譲与税等	126,830
合 計	3,884,000



歳出 (千円)

項目	金額
総務費	563,395
民生費	513,586
衛生費	232,532
農林水産業費	334,607
商工費	456,517
土木費	666,233
教育費	624,706
消防費他	161,389
公債費	285,666
議会費	45,369
合 計	3,884,000



【令和7年度特別会計当初予算】

(単位:千円)

会計名	令和7年度	令和6年度	前年比較増減額	収入のうち一般会計からの繰入金
国民健康保険(事業勘定)	223,273	237,526	△ 14,253	14,890
国民健康保険(施設勘定)	124,792	112,685	12,107	48,363
秋山診療所	3,842	3,842	0	850
後期高齢者医療	33,796	33,242	554	13,858
介護保険	424,020	449,683	△ 25,663	84,106
介護サービス	9,021	10,499	△ 1,478	6,746
ケーブルテレビ	77,099	53,183	23,916	12,596
合 計	895,843	973,010	△ 4,817	181,409

【令和7年度公営企業会計当初予算】 (単位:千円)

事業名	区分	収入 A	支出 B	差引 C=A-B
簡易水道事業	収益的収支	96,335	91,737	4,598
	資本的収支	31,171	50,294	△ 19,123
下水道事業	収益的収支	79,517	77,918	1,599
	資本的収支	43,927	46,022	△ 2,095

●一般会計当初予算規模の推移



-栄村のあゆみ-

昭和31年 (1956)	9月	県の裁定により堺村・水内村合併して下水内郡に属することとなる 下高井郡堺村・下水内郡水内村合併して下水内郡栄村として発足 栄村役場水内支所設置 初代議長に阿部富治郎氏就任
	11月	村長選挙 石沢清一氏無投票当選 水内土地改良区設立
	12月	青倉水道完成
昭和32年 (1957)	1月	栄村連合青年団発足 水内小学校豊栄分校焼失 11月8日新築落成
	4月	堺、水内農業共済組合合併 栄村農業共済組合設立 初の栄村議会議員一般選挙 定数22名
	5月	議長に阿部信一郎氏就任
	7月	堺小学校五宝木分校設置 11月22日新築落成
	9月	堺、水内森林組合合併 栄村森林組合設立
	11月	堺小学校上野原分校移転 新築落成 議長に斉藤信義氏就任
昭和33年 (1958)	9月	台風21号 被害額280万円 村章制定
	12月	堺小学校中央分校新築落成 秋山診療のため東京より徳武医師を迎える
昭和34年 (1959)	4月	栄村学校編成替 堺小学校より北野・長瀬・志久見・3分校独立し東部小学校開設 長瀬を本校とする 中央分校は従来どおり堺小学校の分校とする 堺小学校秋山分校を秋山小学校とする
	8月	台風7号により千曲川増水 堺小へ浸水
	9月	天地へ電燈が入る
昭和35年 (1960)	4月	豊栄小学校独立 6日開校式
	7月	栄村史水内編刊行
	11月	村長に石沢清一氏再選 五宝木へ電燈が入る
昭和36年 (1961)	2月	青倉部落雪崩災害発生 4戸崩壊・11人死亡
	4月	課設置条例制定 村長事務局に総務・住民・建設3課設置 栄村連合婦人会創立
	5月	栄村商工会設立
	6月	百合居橋完成 渡初め式
	7月	長瀬橋完成 渡初め式
	9月	屋敷公民館落成
	4月	坪野公団造林契約 59ha
昭和37年 (1962)	10月	秋山小学校寄宿舎落成
	11月	水内開拓農業協同組合信毎文化賞受賞
	12月	百合居水道完成
	6月	議長に中村憲策氏就任
昭和38年 (1963)	8月	上野原公民館落成
	10月	栄村老人クラブ結成 会員473名
	11月	豪雪地帯指定 長瀬公民館落成 林道滝見線完成 延長3,403m・幅員4.0m
	12月	中条川橋完成 渡初め式 志久見川橋完成 渡初め式 エノキ茸栽培始まる
	10月	村行造林 志久見23ha・箕作18ha 栄村役場移転新增築落成移庁(6月起工)
	11月	栄村史堺編刊行 村長に市川和雄氏当選
昭和40年 (1965)	4月	議長に山田義正氏就任
	5月	議長に保坂益男氏就任 昭和29年設置の栄村パン工場廃止
	6月	極野公団造林契約 126ha 栄村役場秋山支所開設
	8月	苗場山頂ヒュッテ落成 営業
	9月	横倉沢橋完成

	10月	横倉にNHKテレビサテライト局完成 志久見児童館落成
	11月	月岡公民館落成
	12月	村有ブルドーザーによる道路除雪始まる 小滝公民館落成 津南地域清掃センター 一部事務組合設立
昭和41年 (1966)	3月	森地区簡易水道敷設きまる
	5月	水内開拓当初計画竣工 水田90ha・道路25km・水路23km
	6月	秋山保健福祉館落成(兼支所) 奥志賀スーパー林道計画策定 事業予想19億4千万円 幅員4.0m・延長70km・地元負担15.8%
	8月	鳥甲線開通
	9月	原向公民館完成 合併10周年記念式典
	10月	秋山診療所落成
	12月	振興山村指定 岳北保健衛生施設一部事務組合設置 栄村も加入 栄村母子健康センター落成 北野橋完成 全長34.6m
昭和42年 (1967)	1月	集中豪雪列車不通続く 自衛隊出動・生活必需物資輸送 知事来村
	8月	切欠公民館落成
	10月	栄村農事放送農業協同組合設立
	11月	農事放送電話施設起工
	12月	秋山有線放送電話農事放送農協加入のため廃止
昭和43年 (1968)	3月	議長に半藤成美氏就任
	9月	箕作農業センター落成
	10月	火葬場落成 農事放送工事竣工 事業費3,580万円・加入者856戸
	11月	村長に市川和雄氏再選
昭和44年 (1969)	4月	明治百年記念植林(上野原) 25ha
	5月	議長に桑原健氏就任
	8月	北野公民館落成
	10月	林業構造改善事業指定
	12月	小赤沢簡易郵便局設置
昭和45年 (1970)	5月	過疎地域対策緊急措置法に基づく過疎地域の指定 過疎地域振興計画作成 議長に保坂益男氏就任
	11月	横倉駅貨物取扱廃止 屋敷橋竣工
	12月	栄村文化財保護条例制定 箕作公団造林契約 163ha 秋山地区ブルドーザー除雪始まる
昭和46年 (1971)	1月	栄村振興10ヵ年計画決定
	4月	議会事務局設置
	7月	北信地域広域市町村圏設定
	9月	暮坪集落集団移住閉村式
	10月	秋山郷地域集団電話完成 250戸加入 特別豪雪地帯指定 切明温泉ボーリング 自噴55℃・毎分600ℓ
	11月	泉平林業後継者の家設置 山村開発センター(村民会館)新築工事着工
	12月	志久見に栄村福祉企業センター完成
昭和47年 (1972)	3月	北野美座川橋完成
	7月	秋山郷温泉保養センター雄川閣完成 339m ² ・40名収容
	8月	福祉企業センター北野分場設置 平滝駅簡易委託駅となる
	10月	福祉企業センター中央分場設置 栄村村民会館落成
	11月	村長に市川和雄氏再選
昭和48年 (1973)	3月	大規模畜産団地(肉用牛)指定
	4月	振興山村第2次事業開始
	5月	議長に広瀬豊勝氏就任

	8月	長瀬にNHKサテライト局開局
	10月	秋山林道竣工式 昭和33年着工47年完成 延長27,251m・幅員4.0m・事業費3億3,510万円
昭和49年 (1974)	11月	県営東部地区農用地開発事業完成 畑造成80ha・事業費1億168万円
	3月	坪野飲料水供給施設完成
	4月	秋山郷観光協会設立
	8月	秋山郷温泉保養センター雄川閣増築工事完成 増築面積357m ² ・60名収容 東栄化成栄村工場事業開始
昭和50年 (1975)	11月	今泉地区集団移住実施 村外1戸・村内(青倉)4戸 過疎対策事業により新築の村営住宅に入居
	5月	北信中学校・堺中学校・秋山中学校を統合して森堂原地区に栄中学校設置決定
	6月	林業構造改善事業(第2次)指定
	7月	栄中学校用地買収・造成 通学道路・路線橋工事始まる
	8月	横倉・切柳地区NHKテレビ難視聴解消のため共同アンテナ設置
昭和51年 (1976)	12月	五宝木地籍へ村営牧場 20ha完成
	3月	村単小規模(1ha以上10ha未満)基盤整備制度創設 村営バス事業開始決定
		泉平飲料水供給施設完成
	6月	合併20周年記念植樹祭 泉平1ha
	7月	栄中学校建築着工 第2次林業構造事業開始
	9月	村制20周年記念式典(村章改定)
昭和52年 (1977)	11月	村長に広瀬豊勝氏就任
	4月	栄中学校(北信中・堺中・秋山中)に統合 東部小学校(東部小・志久見分校・北野分校)に統合 議長に関沢栄市氏就任 韓国から内科医師江山先生赴任
	6月	天代橋完成
	9月	笹原共同作業所落成
昭和53年 (1978)	10月	峰越林道切明線完成
	11月	平滝簡易水道完成
	12月	雪害対策救助員設置要綱制定
	2月	栄中学校体育館落成
	3月	水内・堺・東部農協合併し栄村農業協同組合設立
	4月	北信小学校(水内小・豊栄小・堺小・中央分校)に統合 秋山小学校(秋山小・上野原分校・五宝木分校)に統合 平滝以北から県境までの国道改良計画示される
	6月	奥志賀スーパー林道全線開通
	7月	栃川台地休憩所完成 栄中学校プール及び運動場完成
	11月	電話自動化になる
昭和54年 (1979)	12月	野田沢・天代生活改善センター落成
	3月	韓国から歯科医師の長田先生赴任
	6月	栄村歯科診療所開設
	9月	小滝飲用水供給施設完成
	11月	栃川台地テニスコート4面完成 NHK長野放送が秋山地区を難視聴解消
昭和55年 (1980)	12月	栄村農協事務所移転独立 昭栄電子横倉工場落成
	3月	栄村診療所落成
	4月	内科・歯科・一般衛生・管理部門を住民課から診療所へ移す 新過疎地域振興計画樹立 高額療養費委任払実施
	11月	村長に広瀬豊勝氏再選 白鳥農村研修集会施設落成
昭和56年 (1981)	12月	栄村林業センター落成
	1月	豪雪による災害救助法適用
	3月	森電子森工場落成
	4月	社会福祉協議会法人化 議長に関沢栄市氏就任
	6月	3ヵ年無火災記念式典 飯山線を守る会設立
	8月	峰越連絡林道野々海天水越線完成。

		台風15号秋山地区大被害
	9月	村制25周年記念式典 60名表彰
昭和57年	12月	村営住宅(第2種公営住宅)完成 五宝木の3世帯入居
(1982)	3月	北信保育園新築落成
	4月	北信保育園認可保育所として発足 栄村さけを呼び戻す会設立
	7月	台風10号通過 被害総額3億1,834万円
	8月	浩宮様苗場山登頂 山頂ヒュッテにご一泊(23日)
	9月	台風18号により千曲川大氾濫 箕作地区浸水
	10月	上越新幹線湯沢駅前共同駐車場完成 津南・旧中里・旧松之山・栄・野沢温泉5町村で使用
	11月	上越新幹線開通 栄村・東京間3時間になる 信濃白鳥駅・横倉駅簡易委託駅になる
	12月	村営住宅に消雪型屋根導入 柳式1戸・地熱式1戸 秋山小学校新築落成
昭和58年	1月	映画「栄村に生きる」製作クランク・イン
(1983)	3月	東部保育園新築落成
		東京で栄村出身者とふるさと懇親会
	4月	森宮野原駅・越後湯沢駅間急行バス開通 国土調査(地籍調査)事業に着手
	6月	今泉にふるさとの家開設 都市との交流始まる 議長に樋口久直氏就任
	9月	農業共済事業広域合併覚書調印 岳北1市3村 台風10号により千曲川前年の台風18号をうわまわる氾濫 箕作・月岡・塩尻・平滝・白鳥の沿岸被害
	11月	千曲川にさけ回帰 西大滝ダムで1匹発見 東京栄村会設立総会 会員約180名
昭和59年	12月	村営住宅(第2種公営住宅)完成 2戸
(1984)	1月	豪雪対策本部設置
	2月	豪雪による災害救助法適用 吉村知事豪雪状況視察
	4月	映画「栄村に生きる」完成 森宮野原駅前駐車場完成
	5月	東京栄村会第1回総会開催
	7月	野々海池にシナノユキマス放流 1年魚100匹・稚魚3,000匹
	10月	村長に広瀬豊勝氏再選 秋山郷温泉保養センター雄川閣増築工事完成 増築面積292㎡
	12月	林道滝見線全線開通 豪雪対策本部設置
昭和60年	1月	災害救助法適用
(1985)	3月	東部小学校新築落成
	4月	栄村診療所から栄村保健センターに名称変更 議長に樋口久直氏就任
	6月	栄村行政改革推進委員会発足
	7月	台風6号による千曲川氾濫 箕作・月岡地区浸水
	8月	秋山郷楽養温泉館完成 新森宮野原橋完成 ブッボウソウ発見 (9月県の天然記念物に指定)
	9月	県民運動競技北信ブロック大会栄村で開催
	10月	非核平和村を宣言
	11月	千曲川にさけ回帰 西大滝ダムで4匹発見 秋山バス通年運行になる 栄大橋・青倉橋開通
昭和61年	1月	豪雪対策本部設置
(1986)	3月	老人福祉センター落成
	4月	栄村振興公社設立 菅沢農地作付開始
	5月	秋山バス切明まで乗り入れ 野々海キャンプ場完成
	9月	村制30周年記念式典
	10月	中条温泉湧出
	12月	白鳥就業施設落成

昭和62年 (1987)	2月	地震群発
	3月	飯山栄村会結成（会員62名） 第1回田舎百貨店開催
	4月	克雪生活圈整備事業導入 ねこつぐら商品化
	8月	日本最小ハッチョウトンボ発見
	9月	栄村総合雪対策条例制定
	10月	白鳥大橋開通
	11月	克雪宣言 日隠橋開通
	12月	森大橋開通 秋山防災行政無線開局 村営住宅森第3完成 2戸
昭和63年 (1988)	4月	診療所内科医師に林先生・歯科医師に山本先生就任 村長広瀬豊勝氏逝去
	5月	村長に高橋彦芳氏就任
	6月	降ひょう被害発生 被害1,200万円
	10月	匠の里モデル工房竣工
	12月	秋山直通バス運行開始 志久見雪坪・横倉共同アンテナ設置
平成元年 (1989)	3月	栄村克雪対策基金設置 北信小学校体育館新築落成
	4月	村単小規模基盤整備制度創設 県単克雪事業導入
	5月	議長に斉藤励二氏就任 のよさの里オープン
	6月	栄村ジュニアスポーツ少年団発足
	8月	栄村庭球場照明施設設置
	9月	青倉トンネル供用開始
	10月	新川屋栄村工場誘致
	11月	村単による農道アスファルト舗装開始
	12月	役場第2・第4土曜日閉庁始まる 栄村診療所増築工事竣工 栄中学校ふるさと太鼓SBC音楽コンクール東日本大会和楽器の部で最優秀校となる
平成2年 (1990)	1月	森宮野原駅構内にJR日本最高積雪地点の標柱設置 集中豪雪対策本部設置
	3月	栄村総合雪対策計画策定 「栄村の石造文化財」発刊
	4月	小赤沢物産楽養館落成
	5月	森林の市初参加
	6月	栄村自然環境保護条例制定
	7月	トマトの国中条温泉オープン 農業委員に初の女性委員誕生
	9月	役場事務一部電算化開始 月岡歯科診療所廃止 南信濃村と信州秘境の郷協定調印 過疎地域活性化計画樹立
	10月	東京栄村アンテナショップ開設 一般国道117号栄道路全線開通 第1回栄村交通安全住民大会開催
	11月	東京都武蔵村山市と姉妹都市提携 早朝集落内道路除雪開始 雑穀シンポジウム開催
平成3年 (1991)	3月	若者向村営住宅白鳥第1団地1棟3戸完成 坪野・原向地区に定期バス乗り入れ開始 和山地区飲料水供給施設完成
	4月	土木関係直営事業本格的に始まる
	5月	北信小学校校舎新築工事着工
	7月	村制施行35周年記念栄村縦断駅伝大会
	8月	「秋山郷の焼畑耕作」県選択無形民俗文化財に選択

		「箕作の道陸神祭り」県無形民俗文化財に指定
	9月	村制35周年記念式典
	12月	村道中条2号線開通
平成4年 (1992)		若者向村営住宅白鳥第1団地1棟3戸完成
	2月	第1回さかえ雪ん子まつり開催
	3月	北信小学校校舎落成
	4月	村長に高橋彦芳氏無投票再選 村営バス泉平・小滝に乗り入れ開始
	7月	北信小学校隣に農村広場完成 横浜市栄区と交流会
	8月	北野温泉湧出 45℃・毎分300ℓ 世界そば博覧会参加
	9月	北信小学校屋外水泳プール完成
	10月	北野温泉共同浴場完成
	11月	第1回栄村防災訓練開催
	12月	若者向村営住宅白鳥第1団地1棟3戸完成
平成5年 (1993)	1月	佐部流山周辺森林生態系保護地域設定される 本村地区分3,435ha
	4月	(社)栄村社会福祉協議会の事務所庁舎2階に設置 津南秋山長野原線国道405号に昇格
	5月	村議会議員選挙 村制施行後初の無投票当選 議長に半藤長四郎氏就任
	6月	横倉農村広場にマレットゴルフ場完成 第1回栄村マレットゴルフ大会開催 旧秋山小学校・村民会館で飯塚英春氏の苗場山写真展開催
	8月	信州博覧会市町村催事で「栄村の日」開催 栄村老人総合福祉センター建設着工 栄村総合調査第1回村民集会開催 小沢征爾氏・ロストロポービッチ氏ら北野天満宮・常慶院・秋山地区で公演
	9月	県民さわやかスポーツ祭北信ブロック大会開催 冷夏による農作物冷害対策本部設置 被害額1億8千27万6千円
	11月	横倉チビッコ広場完成
	12月	北野天神橋開通 村道中条2号線沿いに栄村就業施設完成
平成6年 (1994)	1月	道の駅「信越さかえ」・栄村物産館「またたび」落成 第三セクターで(有)さかえ物産センター設立
	2月	農業危機突破村民大会開催
	3月	さかえ森遊クラブ設立
	6月	県営農地開発事業「菅沢地区」完成 工期11年・造成面積39ha・事業費7億6,100万円 農道整備事業「西ノ峰線」完成 工期8年・延長4,193m・事業費4億6,750万円
	8月	記録的な猛暑により天地及び各地区で水不足発生 干ばつによる農作物被害額約4千万円 栄村観測史上最高の39度を記録 林道「栄線」第1期工事着工 (五宝木・矢びつ登渡間)
	9月	集中豪雨のため村内各地で農地災害発生 被害額約1億4千万円
	10月	林道「野々海線」全線舗装完成 上野原砂防ダム完成 県民芸術祭県民コンサート開催
	11月	国道117号白鳥・東大滝間に東大滝橋完成 市川バイパス開通
	12月	横倉マレットゴルフ場に夜間照明施設設置 栄村高齢者総合福祉センター完成
平成7年 (1995)	1月	栄村総合調査(中間報告)村民集会開催
	2月	自治研センター全国集会 秋山郷で開催 SBCこども音楽コンクールに秋山小学校児童参加
	3月	森宮野原駅簡易委託駅になる
	4月	栄村高齢者総合福祉センターオープン
	5月	秋山郷活性化センター建設着工 北信地区植樹祭 横倉農村広場で開催
	6月	新井英一氏コンサート 村民会館で開催
	7月	南信濃村遠山中学校と交流 百合居温泉湧出 50℃・毎分85ℓ
	8月	戦後50周年村民の集い開催
	9月	庁舎車庫2階にスキー場設計事務所開設 小滝区が全国美しいむらづくり表彰受賞

平成8年 (1996)	11月	山路智恵絵手紙展10月から1ヶ月間開催 延12,016人来場
	12月	坪野地区集会施設兼東部線バス車庫落成 百合居温泉簡易共同浴場落成
	2月	集中豪雪対策本部設置
	4月	村長に高橋彦芳氏無投票再選 秋山保育園通年保育開始
	6月	秋山郷活性化センター「とねんぼ」落成
	7月	振興公社10周年記念式典
	9月	村制40周年記念式典（村の花「カタクリ」・村の鳥「ブッポウソウ」制定） 全国小さなしあわせ絵手紙展開催 「小さなしあわせ絵物語」発刊 「広報さかえ縮刷版」発刊
	10月	貝立橋完成 栄中学校20周年記念式典 村制40周年記念村民大運動会開催
	11月	栄村ブランド米「こころづかい」発売 6日初雪 森6cm・秋山25cm
	12月	さかえ倶楽部スキー場オープン
平成9年 (1997)	1月	無雪の正月
	2月	さかえ倶楽部スキー場で村民スキー大会開催
	4月	役場機構改革(企画課+商工観光課→企業観光課) 村議会議員選挙 「小っちゃなしあわせ絵手紙展」が第1回ふるさとイベント大賞受賞
	5月	絵手紙世界展「私の小さな金メダル」作品募集 議長に福原孝平氏就任 村道長瀬秋山線「矢櫃トンネル」開通 上野原地滑り対策工事完成
	6月	トマトの国に巨大彫刻完成
	7月	山路智恵絵手紙展「夢追いかけて3000日」オープン(物産館)
	8月	JR飯山線新車両導入
	10月	村道鳥甲線竣工式（総工期20年）
	11月	苗場山自然体験交流センター落成(鉄骨木造平屋建て 床面積231m ²) 北信小学校20周年記念式典 女性1日議会開催
	12月	3日初雪 森53cm・秋山70cm 北野天満温泉竣工式 北野天満温泉「学問の湯」オープン さかえ倶楽部スキー場グランドオープン ナイター設備完成
平成10年 (1998)	1月	無雪の正月(2年連続の小雪となる) さかえ倶楽部スキー場ナイター営業開始
	2月	長野冬季オリンピック聖火リレー栄村へ 「絵手紙世界展」開幕 長野冬季オリンピック開幕 栄村総合調査報告会(平成5年～長野県地方自治研センター)
	3月	長野パラリンピック聖火リレー栄村へ 長野県スキー連盟A級公認 第1回貝立山麓スキー大会 長野パラリンピック開幕 中条に農産物加工センター落成
	4月	消防常備化 岳北広域行政組合に加盟
	8月	絵手紙世界展閉幕 全国から8万点余りの絵手紙が集まる スキー場にマレットゴルフ場オープン
	9月	第4回栄村交通安全住民大会開催 林道栄線五宝木トンネル貫通
	10月	栄村スポーツ少年団10周年記念行事開催
	11月	栄分遣所開設 消防ポンプ車・救急車が24時間体制で配備 村営住宅横倉団地完成 東部小学校40周年記念式典 第2回女性1日議会開催 19日初雪
	12月	農事放送デジタル有線施設更新 秋山地区加入 全村に新通信網整備 飯山市・木島平村・豊田村・栄村の農協合併により北信州みゆき農協誕生

平成11年 (1999)		村道長瀬秋山線消雪工事完成
		越後湯沢行き急行バス減便(1日2往復)
	1月	年末からの集中降雪 1週間降り続く
	2月	第8回雪ん子まつり開催
		名誉村民 山本莊毅先生ご逝去
	3月	国の景気対策による地域振興券交付
	4月	栄ふるさと太鼓サンフランシスコ桜祭りに出演
	5月	第1回栄村職員研修会開催
		長期活性化計画策定のための村民アンケート実施 公募等による「計画策定研究委員会」発足
	6月	栄村公式ホームページオープン
		第12回栄村田舎百貨店と山菜祭り同時開催(物産館)
		栄村ホームヘルパー養成講習会開催(3級課程)
平成12年 (2000)		さかえ幼年消防クラブ発会式
	7月	農業委員選挙無投票により15人当選
		奥志賀公園栄線全線舗装完成祝
	8月	武蔵村山市と秋山小学校生徒による自然体験交流会
	9月	第10回記念月夜のコンサートin常慶院
	10月	「小ちなしあわせ絵手紙展」開催 約2千点展示
		公文書公開制度スタート
		森商店街に新街灯設置
	11月	県営中山間地域総合整備事業栄地区事業完了式
		北野温泉公園「学問の橋」完成
		第3回女性1日議会開催
		秋山小学校40周年記念式典
平成13年 (2001)		若者が語る農林業の集い・収穫祭開催
		16日初雪
	12月	スキー場初めて年内営業開始(12月18日) 積雪30cm 秋山45cm
		NHK「ゆく年くる年」常慶院から生放送
	1月	菅沢堆肥センター組合設立
	2月	第9回さかえ雪ん子まつり開催
		青少年健全育成助成事業 子供和太鼓交流会開催
	3月	第13回田舎百貨店開催
	4月	村長に高橋彦芳氏無投票再選
		北信広域連合設立
		総合振興計画策定 「みどり豊かな、心のやすらぐ村」
		介護保険制度スタート
平成13年 (2001)		森林整備計画策定
		チャイルドシート購入補助開始
	7月	林道栄線五宝木トンネル開通
	9月	第11回月夜のコンサート開催
		佐部流山登山道復活
	10月	栄むらじゅう絵手紙展開催
		栄村高齢者生きがいセンター落成
		栄村堆肥センター落成
	11月	庁舎及び森駅周辺総合整備検討委員会設置
		林道天代原向線完成
		広域基幹林道 栄線 五宝木トンネル竣工
	12月	道踏み支援事業開始
平成13年 (2001)	1月	豪雪対策本部設置
	2月	県知事来村 「知事と語ろう長野県の明日」開催
		第10回さかえ雪ん子まつり開催
	3月	森・中条地区農業集落排水事業完成
	4月	村議会議員選挙
	5月	議長に桜沢恒友氏就任
	8月	命の誕生「島津よしのり木の世界」開催
	9月	第1回栄村保健福祉大会開催
		栄むらじゅう絵手紙展開催
		栄中学校生徒を対象に県下初の俳句ライブ開催
		第12回月夜のコンサート開催
		村制45周年記念式典

平成14年 (2002)	3月	全日本スキー連盟B級公認 第1回さかえ倶楽部スキー選手権大会開催 第11回さかえ雪ん子まつり開催 長野電鉄木島線廃止 森第4団地プラスパ森完成
	4月	栄分遣所業務拡充により栄分署となる
	7月	水内土地改良区解散
	8月	旧庁舎解体開始
	10月	栄むらじゅう絵手紙展開催
	11月	新庁舎等建設工事起工式 日中絵手紙交流展中国蘇州市で開催 遣蘇使節団として参加 市町村合併問題対話集会実施(秋山・東部地区)
	12月	市町村合併問題対話集会実施(北信地区) 有線高速インターネット(ADSL)接続サービス開始
平成15年 (2003)	2月	小さくても輝く自治体フォーラム開催 46首長600余名
	5月	10万通日中絵手紙交流展開催 蘇州市から絵手紙交流使節団7名来村
	8月	住民基本台帳ネットワークシステム第2次サービス開始
	9月	旧森駅舎解体工事・森駅前活性化センターの建設工事開始
	10月	北信州むらじゅう絵手紙展開催
	11月	市町村合併問題対話集会開催(秋山郷総合センター・老人福祉センター・さかえ倶楽部スキー場)
平成16年 (2004)	12月	市町村合併問題に関する集落懇談会開催(各集落17会場)
	1月	臨時議会で自律のむらづくり決定
	2月	栄村役場新庁舎落成 27日引渡し
	4月	森宮野原駅交流館「ふきのとう」竣工式 栄村役場新庁舎開庁式 村長に高橋彦芳氏無投票再選
	10月	台風23号により千曲川増水 現地対策本部設置 栄村総合庁舎竣工式 新潟県中越地震発生 震度5弱を記録
平成17年 (2005)	2月	豪雪対策本部設置(4日) 2005年スペシャルオリンピック開催 ルーマニア選手団ホームステイ
	4月	NPO地球緑化センターから「緑のふるさと協力隊員」2名受入 村議会議員選挙 無投票当選 12名
	5月	議長に藤木八十治氏就任
	6月	農業委員選挙 無投票当選 10名
	7月	小柴昌俊氏・中村修二氏を迎え「2005世界物理年記念信越講演会」開催
	8月	集中豪雨災害発生(激甚災害)
	9月	半藤茂俊氏助役退任 島田茂樹氏就任 10月1日より助役が収入役の職務を兼掌
	12月	特別養護老人ホーム「フアンセーズ悠さかえ」起工式 さかえ倶楽部スキー場10周年
平成18年 (2006)	1月	豪雪対策本部設置(4日) 災害救助法適用(7日) 国道405号(見玉・大赤沢間)雪崩のため全面通行止め(8～12日・14～15日) 自衛隊員39名が秋山地区で災害派遣活動実施(11～13日)
	6月	スキー場にサフォーク牧場開設(14日)
	7月	50周年記念縦断駅伝大会開催(2日) ギョウジャンニクシンポジウム開催(6日 とねんぼ) 千曲川異常増水災害対策本部設置 箕作に避難勧告(19日) 絵手紙収蔵館起工
	8月	グルッとまるごと栄村100kmサイクリング開催(5～6日)
	9月	北信州農村女性のつどい開催(8日) 村制50周年記念式典(30日)
平成19年 (2007)	3月	さかえ雪ん子祭 村営バス、東部路線バス廃止
	4月	デマンド交通運行開始
	7月	新潟県中越沖地震発生(16日 栄村震度4) 栄村絵手紙収蔵館竣工式(3日 オープン12日)
平成20年 (2008)	8月	グルッとまるごと栄村100kmサイクリング(4～5日)
	4月	栄村直営診療所開設、市川医師就任 栄ふるさと太鼓サンフランシスコ公演 栄村長・栄村議会議員補欠選挙(20日) 村長に島田茂樹氏初当選、議員に上倉和美氏無投票当選

	6月	北信州植樹祭(7日)
	10月	マタギサミット開催(28・29日) 副村長に斎藤家富氏就任 東部小学校開校50周年記念式典
平成21年 (2009)	12月	信濃白鳥駅新築
	1月	初の修学旅行生受け入れ(熊本県南関高校)
	2月	にほんの里100選に栄村が選ばれる
	4月	栄村診療所に佐々木医師就任 栄村議会議員一般選挙 秋山郷保存民家屋根改修 東部保育園(対象児童3名)、秋山保育園(対象児童0名)が休園。秋山保育園は1年間のみ
	5月	議長に赤津安正氏就任
	7月	高円宮妃殿下来村 平成21年度過疎地域自立活性化優良事例表彰(全国過疎地域自立促進連盟会長賞受賞)
	8月	栄村小学校統合審議会第1回開催 栃川発電所本格工事着工
	9月	地域情報通信基盤工事着工
	11月	秋山小学校独立50周年式典
平成22年 (2010)	1月	大雪のため14日午前9:30から6時間にわたりR117の県境から市川橋間が通行止めとなる
	2月	北野天満温泉湧水が「信州の名水・秘水」(長野県選定)に選ばれる
	3月	第5次「栄村総合振興計画」策定。(基本構想H22～31年度、基本計画H22～26年度)
	4月	有線テレビジョン放送施設設置許可状が信越総合通信局長から交付される
	5月	第1回栄村・秋山郷観光フォトコンテスト授賞式開催
	7月	栄中学校耐震補強工事が2ヵ年計画で開始される
	9月	村内の携帯電話不感地域(原向・坪野・五宝木)にNTTドコモ基地局を村で設置 第20回月夜のコンサートファイナル開催(11日) 栄村過疎地域自立促進計画(H22～27)策定 栄中学校全校合唱がSBC子ども音楽コンクールの地区大会で優秀賞を受賞(26日)
	10月	14日から全村でのケーブルテレビ視聴が可能になる。有線放送業務終了
	11月	JR平滝駅舎竣工式(4日) 東部小学校閉校記念お別れ会(13日) 新屋敷橋の渡り初め式(25日)
平成23年 (2011)	12月	東京電力「栃川発電所」が完成し、9日から運転開始 北野温泉湧水を利用して、長野県による小水力発電の実証実験が開始される
	2月	箕作集落センター完成
	3月	12日午前3時59分長野県北部を震源とする震度6強の地震で甚大な被害が発生 本震 3:59 震度6強 余震 4:31 震度6弱 余震 5:42 震度6弱 村は6:00に災害本部を立ち上げ、11:00に804世帯2042人に対して避難指示 12日 災害救助法が適用 13日 激甚災害に指定 18日 栄村復興支援機構「結い」(ボランティア組織)を結成。事務所を役場議場に置く 18日 県職員(玉井企画幹)1名の派遣を受ける。(～5月31日) 21日9:00 避難指示解除。中条地区に避難勧告 22日19:30青倉北向地区に避難勧告 24日 中学校卒業式及び北信小学校と東部小学校の卒業式と開校式開催 29日 7か所の避難所のうち4か所(フランセーズ悠さかえ、箕作集落センター、栄中学校、東部小学校)の避難者数が0人になる
	4月	1日 義援金から秋山を除く被災世帯を対象に1世帯当たり5万円の見舞金を配分 3日 栄村復興支援機構「結い」の事務所を森宮野原駅交流館2階に移転 4日から18日までの予定で建物被害認定調査開始。県、近隣市町村、建築士会からの応援を得て1班3人の10班態勢。 9日 栄小学校の避難者数が0人になる 12日 栄小学校の開校式・入学式 震度5弱の余震によりR117が一時通行止めになり1時間遅れで開催される 20日から「り災証明書」発行開始 28日 栄村議会震災復興支援特別委員会設置 30日17:00 県道長瀬横倉(停)線貝廻坂の通行止め解除
	5月	6日 第1回義援金配分委員会開催 10日10:05大雨のため中条地区と青倉地区の一部に避難指示。17:30指示解除

		14日 「栄村の復興を考える会」が阿部県知事も参加して栄中学校ランチルームで開催 北野天満温泉駐車場に仮設住宅5戸が完成し、5月14日から入居開始 横倉農村広場に仮設住宅35戸が完成し、5月29日から入居開始
平成24年 (2012)	6月	1日 北野天満温泉の避難者数が0人となる 12日 復興イベントが役場村民広場で開催される 20日 栄村役場の避難者数が0人となり、すべての避難所が閉鎖される 横倉農村広場に第二次分の仮設住宅15戸が完成し、6月20日から入居開始 30日 15:00 国道117号の大型車(8t超)通行止めが解除
	7月	3日 「清水アキラものまねショー」かたくりホールで開催される 11日 中条川土石流に係る避難勧告解除 12日 「栄村震災対策本部」を解散し、「栄村震災復興本部」を設置 22日 栄村農事放送農業協同組合の清算総会及び解散記念式典開催(3月17日から延期)
	8月	6日～7日 グルッとまるごと栄村サイクリング特別編開催 7日 サイトウキネンフェスティバル出前コンサートがかたくりホールで開催される 11日 栄村災害弔慰金支給審査委員会において死亡者3人を「災害関連死」に認定 12日 復興祈念花火大会が横倉農村広場で開催される
	10月	長野県から職員1名派遣される。(平成26年3月まで) 16日(日)午前中に栄村収穫祭、午後には栄中学校体育館で「無茶フェス2011in栄村」 同日の午後は、信州大学中山間地域プロジェクトと栄村の共催によるシンポジウム「復旧・復興の現状と今後の課題～震災後7カ月を経過して～」が開催される 17日 横倉仮設住宅に仮設の集会所が完成 20日 横倉仮設住宅集会所に併設した仮設食料品店舗が開店 27日 第1回栄小学校音楽会が開催される 30日 上郷中学校と栄中学校が綱引きで交流する最後の「しなちく祭」が開催される
	11月	栄村診療所の佐々木医師が入院したため、診療所業務を飯水医師会に委託(11月26日～翌年3月)
	12月	19日 中条温泉トマトの国がリニューアルオープン 26日 ケーブルテレビの告知放送に「リピートラジオ放送」機能が追加され、運用が開始される
	1月	6日 16:30頃に仮設住宅の41歳男性が屋根の雪下ろし中に仮設住宅屋根から転落、翌日死亡 28日 森駅前に仮設による生鮮食料品店が開店 29日 10:00豪雪対策本部設置。(30日～ 毎朝本部会議を開催) 29日 19:30頃に中条橋が積雪により崩落する。
	2月	1日～29日 豪雪により災害救助法が適用される。(小谷村、信濃町、栄村の北部3村) 救助対象世帯(112世帯)の雪下ろし等と地区内道の除排雪を実施 5日 国土交通副大臣(奥田建)長野県北部豪雪地域の現地視察に来村 13日 衆議院災害対策特別委員会(村井委員長以下13名)豪雪地域の現地調査に来村 15日 第1回栄村震災復興計画策定委員会開催
	3月	1日 豪雪対策本部から残雪対策本部へ移行 青倉公民館完成
	4月	村長に島田茂樹氏無投票再選 栄村診療所に本村医師就任 20日「栄村国際絵手紙タイムカプセル館」、「山路智恵絵手紙美術館」再開 26日 森公民館竣工式
	7月	2日 武蔵村山市にアンテナショップオープン 19日 天皇皇后両陛下、長野県北部地震の被災者ご訪問
	8月	5日 グルッとまるごと栄村100kmサイクリング
	9月	3日 ロンドン五輪メダリスト三宅宏美氏来村
	10月	1日 副村長に斉藤家富氏再任 16日 栄村震災復興計画決定
	11月	15日 「栄村秋山郷観光協会」設立 15日 信州大学農学部との協力協定調印式 24日 横浜市栄区にアンテナショップオープン 26日 復興公営住宅竣工式(村内8地区、31戸)
	12月	5日 仮設住宅の取り壊しが始まる 13日 「北信地域定住自立圏形成に関する協定書」締結(中野市、飯山市)
平成25年 (2013)	1月	栄村歯科診療所に益野歯科医師就任
	3月	栄村震災記録集「絆」発刊 村営住宅長瀬団地1棟8戸完成
	4月	栄村議会議員一般選挙 山路智恵絵手紙美術館の館長に山路智恵氏就任
	5月	議長に福原和人氏就任

	7月	栄村社会福祉協議会内に「総合サポートセンター」を開設
	9月	16日 台風18号により中条川で土石流発生 栄村森林組合事務所が大規模な被害を受ける 16日 森(中条)地区、青倉(北向)地区に避難指示発令 20世帯54人が各公民館へ避難 翌日避難指示解除
	10月	15日 台風26号により中条川流域で土石流が発生する恐れが高まり森(中条)地区、青倉(北向)地区に避難勧告発令 翌日避難勧告解除
	11月	横浜市栄区と友好交流協定を締結
	12月	中条橋の竣工式・渡り初め式
平成26年 (2014)	2月	21日～24日大雪による災害支援 山梨市へ職員3名派遣
	4月	北野天満温泉チップボイラー火入れ式 栄村歯科診療所に益野歯科医師就任
	9月	栄村ライスセンター竣工式(3日)
	12月	22日 苗場山麓ジオパークが日本ジオパークに認定される
平成27年 (2015)	3月	北陸新幹線が金沢まで延伸開業
	7月	第20回全国小さくても輝く自治体フォーラムin栄村 開催 栄村農産物販売所(通称:栄村直売所かたくり)がオープン
	12月	教育委員会制度改正により教育長が特別職となる。宮川幹雄氏が再任 さかえ倶楽部スキー場開業20周年 栄村過疎地域自立促進計画(H28～32)策定
平成28年 (2016)	2月	19日 「栄村人口ビジョン」、「栄村総合戦略」を策定
	4月	1日 秋山小学校が栄小学校に統合。秋山分校となる。 24日 栄村長・栄村議会議員補欠選挙 村長に森川浩市氏初当選 27日 栄村森宮野原駅前複合施設「絆」(きずな)がオープン
	7月	15日～29日 熊本地震被災地へ災害支援 嘉島町へ職員2名派遣
	8月	歴史文化館「こらっせ」オープン
	10月	1日 村制60周年記念式典 栄中学校開校40周年
	11月	19～20日 44年ぶりに栄村(飯山線)をSLが走る
平成29年 (2017)	12月	5日 副村長に森重俊幸氏就任
	3月	栄村総合振興計画策定
	4月	栄村議会議員一般選挙 17日 栄村平滝清水河原工場竣工式
	6月	中国孫大剛総領事来村 「わがふるさと中国を語る」記念講話
平成30年 (2018)	11月	15日 箕作平滝大橋開通式
	3月	17日 栄村ふるさと観光大使に信州プロレス(代表グレート・無茶氏)が就任
	4月	栄村診療所に佐々木医師就任 中国蘇州市訪問 村長ほか3名
	5月	25日 21時13分長野県北部を震源とする震度5強の地震が発生 本震 21:13 震度5強 余震 21:14 震度1 余震 21:15 震度2 地震災害警戒本部の設置 26日 第二次警戒配備へ移行
	6月	4日 地震災害警戒本部解散
	7月	2日 長瀬新田遺跡出土火焰土器、瑞花双鳳八稜鏡の2点が村宝に指定 20日 栄村観光大使に倪頌霖氏就任
	11月	6日～10日 中国蘇州市から27名訪問 15日 土合橋開通式
	12月	25日 宮川教育長退任 26日 教育長に石澤清人氏が就任
平成31年 (2019)	1月	18日 苗場山麓ジオパークが日本ジオパークとして再認定される。
	3月	31日 栄村振興公社解散
令和元年	6月	17日 副議長に月岡利郎氏就任
	8月	7日 栄村観光大使に山路智恵氏就任
	10月	12日 東日本台風による大雨で村内各地で土砂災害等が発生。村内61世帯131名が避難所へ避難 13日 未明 千曲川が越水し、箕作地区の4世帯が浸水被害を受ける。(床上・床下浸水各2世帯) 15日 避難勧告が全て解除される。
	12月	31日 森重副村長退任
令和2年 (2020)	1月	新型コロナウイルス感染症の世界的な流行。村では相談窓口を開設。
	3月	国内での新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、村内小中学校を臨時休校(2日～18日) 31日 佐々木公一医師退任 31日 横倉地区に民間賃貸住宅「ヴィレバル」が完成(施工:株式会社竹花組)
	4月	1日 栄村診療所に杉山賢郎医師着任 1日 希少動植物調査員2名委嘱 6日 栄村新型コロナウイルス感染症対策本部設置 26日 栄村長選挙 宮川幹雄氏が初当選
	5月	日本さくらの会より寄贈された桜の苗木100本を秋山地区に植樹
	6月	22日 副村長に桑原全利氏就任

	7月	27日	令和元年東日本台風の被害を受け、千曲川の氾濫を想定した栄村水害対策訓練を実施
	9月	4日	栄村消防団が東日本台風における防災・水防活動に対し防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
		27日	村と関係団体が、新型コロナウイルス感染症を考慮した避難所設営訓練を実施
10月		26日	栄村消防団が、令和元年東日本台風における防災・水防活動に対し長野県知事表彰を受賞
11月			コロナとインフルエンザの同時流行を防ぐため全村民対象にインフルエンザ予防接種費用補助を実施。
		9日	明石大橋開通式。平滝地区と野沢温泉村明石地区が結ばれる。
		26日	栄小学校が、情報通信技術を活用した授業により、時事通信社教育奨励賞を受賞
12月		15日からの集中豪雪による倒木で村広範囲で停電等被害が発生。	
			森地区24時間降雪量：15日65cm、16日95cm、17日68cm。その後も降雪は続き21日には積雪が205cmとなる。
			・停電：最大23集落 ⇒ 順次復旧が進み、21日22:30分をもって全集落で復旧完了
			・CATV：20日9:20分から村内全域で視聴不可 ⇒ 20日18:00復旧
			・スキー場：19日14:40分停電でリフト停止。乗車者22名の救助作業 ⇒ 19日16:10分全員救助完了
			20日から、リフト架線に倒木があり営業休止。⇒ 24日から営業再開
令和3年 (2021)	2月	7日	第50回栄村スキー大会開催。50名が参加
	3月	12日	最後の復興灯明祭り開催。震災から10年目の節目を迎えたことにより今回で終了とする。
		31日	栄村歯科診療所小林歯科医師退任
	4月	16日	栄村歯科診療所米田歯科医師着任
		25日	栄村議会議員一般選挙
	5月		新型コロナウイルスワクチン接種開始。集落ごとに接種日を定め、希望者には診療所までの送迎を実施。
		21日	第18期議会体制開始。議長に上倉 敏夫氏、副議長に桑原 武幸氏
	6月	4日	さかえ倶楽部スキー場において長野県植樹祭開催
	7月	20日	栄村老人クラブ連合会の解散総会が開催
	8月	14日、15日	オンライン成人式開催。令和2年度成人、令和3年度成人がリモートで出席
	9月	25日	信越トレイルが苗場山まで延伸。全長110kmに。
	10月	11日	令和2年12月豪雪での倒木による停電を受け、支障木伐採事業を開始。(月岡～天地)
		17日	初の小中合同音楽会開催。
			北信保育園が信州型自然保育に認定される。
令和4年 (2022)	12月	25日	石沢教育長退任。渡辺教育委員が教育長職務代理となる。
	1月	27日	仙当城、ひんご遺跡出土品が村指定文化財に指定される。
	2月	1日	平成29年度より編集作業を続けてきた『栄村誌(歴史編)、(自然編)』が完成
		23日	森地区で積雪360cm、翌24日には秋山地区で積雪415cmを観測し、数年ぶりの大雪となる。
	3月		第6次栄村総合振興計画 後期基本計画を策定
		3月12日	を「栄村防災の日」に定める。
	4月		教育長に 下 育郎 氏が就任
	5月		箕作地区で千曲川堤防工事が始まる。
		1日	公民館長に 樋口 正幸 氏が就任
		9日	中津川切明地区にて土砂崩落。人的被害等なし
	6月		住民参加により学校の在り方を研究する「みんなで学校を創ろう」第1回開催
	8月		津南地籍旧宝山荘付近の道路拡張工事が竣工
10月	16日		3年ぶりとなる栄村総合文化祭を開催。小中合同音楽会も同時開催するなど盛会となる。
10月	23日		4年ぶりとなる栄村総合防災訓練を開催。横倉地区内にて延長放水訓練を実施
12月	13日		H30年度から継続してきた村道箕作泉平線改良工事が全区間完了。
	16日		苗場山麓ジオパークが日本ジオパークとして再認定される。
令和5年 (2023)	2月		苗場山麓ジオパーク特産商品として、クロモジ製品、おひさまケチャップ、栃餅が認定。
	3月	11日	防災教育講演会開催。小中学校の防災教育実践事例の発表、信大廣内教授の講演。
	5月	8日	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へと緩和される。
		17日	特定保護動植物を指定。(長野県及び環境省のレッドリスト掲載全種など)
	6月	5日	5月5日発生の石川県能登地方の地震で被災した珠洲市、能登町、輪島市に災害見舞金を贈呈
		30日	横倉地区の新村民住宅「Next 1」が竣工。(鉄筋コンクリート造・1K・8戸)
	7月		栄村子ども子育てセンター開設。(月～金 8:30分～17:15分まで開設)
	8月	6日	ソール・ド・苗場山2023(栄村100kmサイクリング)が4年ぶり開催。参加者200名超
		8日	阿部 守一県知事との県民対話集会開催。村民26名と意見交換。
10月	7日・8日		BRPジャパン主催の大型三輪バイクイベントを開催。(さかえ倶楽部スキー場)
			参加者150人超、スキー場-横倉-中央-東部の区間を合同ツーリング
	16日・17日		栄村移住体験ツアー開催(「村暮らしサポート団体よそも」主催)。参加者5名
11月			村道天代坪野線、未整備区間の改良工事が完了。
	11日		JMRC関東ラリーカップ長野県ラリーシリーズ第6戦が村内にて開催。
令和6年 (2024)	1月	1日	1月1日能登半島地震が発生。栄村でも震度5弱を観測。
			能登半島地震により被災した輪島市、珠洲市、穴水町に災害見舞金を贈呈。
		23日～27日	石川県輪島市の避難所支援の為、栄村役場職員1名を派遣。
		30日	桑原全利副村長退任
	3月	21日～30日	能登半島地震による被災地支援として志賀町と羽咋市に延べ5名の栄村役場職員を派遣。
			北野天満温泉の新温泉棟が竣工。
			栄村防災マップを改定。
	4月	9日	栄村の風景がラッピングされた大型トラックのお披露目。
		21日	栄村長選挙が執行。宮川幹雄氏が2期目の就任。
		28日	栄村消防団観閲式が6年ぶりに開催。
	5月	18日～22日	能登半島地震による被災地支援として輪島市に延べ4名の栄村役場職員を派遣。
		31日	箕作宅地造成工事が完了。
	6月	22日	マタギサミットが栄村にて8年ぶりに開催。
	7月	1日	副村長に藤木利章氏就任。

令和7年 (2025)	8月	6日	聞き書き甲子園栄村成果発表会が開催。
	10月	9月21日～23日	にかけて発生した能登豪雨災害への義援金を石川県輪島市、能登町、珠洲市に贈呈。
	11月	14日	栄スキークラブ40周年記念式典開催。
	3月	28日	栄村商工会と「災害に係る支援活動に関する協定」を締結。災害時に双方が協力して物資の調達支援協力等を行うことが目的。平時の防災訓練でも連携していく。
	4月		令和8年度開校予定の小中統合学校に係る令和7年度栄小学校増改築工事に向け、栄中学校にて小中合同の学校生活が開始。
		15日	令和7年5月20日任期満了に伴う栄村議会議員選挙は候補者定数同数により20年ぶりに無投票当選。
	5月	17日	千曲川河川ゴミ拾い活動を実施。
		21日	栄村議会の改選後初議会を開催。議長に上倉敏夫氏、副議長に月岡利郎氏が選出。
		24日	第1回栄小中合同運動会が開催。小中学生合同の学校生活の開始による初の合同運動会となる。
	6月	29日	第36回北信消防協会消防ポンプ操法大会において栄村消防団が小型ポンプ操法の部で優勝。また、出場した栄村消防団員全員が個人表彰である番員賞を受賞。
	7月		広報さかえが7月号の発刊をもって創刊500号となる。
		13日	第67回長野県消防ポンプ操法大会に栄村消防団が出場。13チーム中6位となる。
9月	16日		令和8年度開校予定の小中統合学校「さかえ小中学校」の増改修工事が開始。翌年7月31日完了予定。
11月	16日		JR飯山線栄村区間延伸100周年により記念事業を開催。約300人が来場。

～ 村的一幕 ～

○栄村消防団、ポンプ操法大会で活躍



令和7年6月29日(日)に開催された「第36回北信消防協会消防ポンプ操法大会」において、栄村消防団が小型ポンプ操法の部で見事優勝を果たしました。更に、大会に出場した第2分団のメンバーは日頃の訓練の成果を存分に発揮し、全員が個人表彰である番員賞を受賞しました。

令和7年7月13日(日)開催の「第67回長野県消防ポンプ操法大会」に北信消防協会の代表チームとして出場し、出場13チーム中6位と健闘しました。

○JR 飯山線栄村区間延伸 100 周年記念事業



令和7年はJR飯山線が栄村区間に延伸して100年となります。これを記念し、復興記念館「絆」の前で11月16日(日)にJR飯山線栄村延伸100周年記念事業を開催しました。村内外から約300名のお客様にご来場いただき、長野県PRキャラクターアルクマの特別出演や島田美代さんの歌唱、さかえ田植唄愛好会による踊り、栄ふるさと太鼓の演奏などを楽しんでいただきました。

駅食堂「ふきのとう」ではキノコ汁やかき揚げうどん、もつ煮などの物販が特別営業で行われ、大いに賑わいました。

会場では多くの方から提供のあった100年を彩る各駅の昔の写真などの映像を流し、村内各駅にも写真を展示しました。

これからも大切な飯山線を多くの皆様と一緒に守っていきます。



イベントの様子



各駅に設置した記念横断幕

○各駅の昔の写真など (多くの写真を提供いただきました。)

